

平成24年度

# 青少年会議報告書



平成25年3月

狛江市青少年問題協議会  
狛 江 市



## 目 次

|                        |      |
|------------------------|------|
| 青少年会議とは . . . . .      | 1 P  |
| 第1回青少年会議について . . . . . | 2 P  |
| 第2回青少年会議について . . . . . | 8 P  |
| 第3回青少年会議について . . . . . | 20 P |
| 第4回青少年会議について . . . . . | 26 P |
| 第5回青少年会議について . . . . . | 27 P |
| 青少年会議報告会 . . . . .     | 28 P |
| 青少年会議に参加してのアンケート . . . | 53 P |
| 会議開催日及び主な内容 . . . . .  | 56 P |
| 青少年会議のメンバー . . . . .   | 57 P |
| 報告会アンケート集計結果 . . . . . | 58 P |



## 青少年会議とは

狛江市青少年会議は、平成 20 年度より隔年で開催し、青少年自身の意志や意欲を尊重した、自主的・主体的な活動を促進するため、狛江市と狛江市青少年問題協議会の共催で会議を行っています。

狛江市次世代育成支援行動計画では、青少年の意見の表明の場として概ね 12～18 歳の青少年で構成する青少年会議の運営を通じ、青少年施策の反映を図ること、また青少年自身の意志や意欲を尊重した自主的・主体的な活動を促進することが謳われています。

今回の青少年会議は、市内の中学生 14 名と前回の青少年会議参加ＯＢとサポーター 10 名の計 24 名で構成され、そのメンバーで平成 24 年 10 月より会議を行いました。

平成 25 年 3 月には青少年会議の報告会を行い、3つのグループに分かれて、未来の街づくりに向けて「狛江のために、私たちができること」をテーマに、各グループで議論を重ねた内容を発表しました。グループの発表後には他グループの中学生から質疑応答を受け、最後には来場者からも感想をいただきました。

中学生が検討した内容については、市の今後の施策として実施可能かどうか、関係部課に検討を依頼し、回答内容については参加した中学生及びサポーターへ報告する予定となっています。

それでは、今回の青少年会議の活動の詳細について次ページより報告いたします。

## 第1回青少年会議について

- 日時：平成24年10月21日（日）午前10時～午後0時10分
- 場所：市役所特別会議室
- 青少年会議の目的
  - ・ 青少年の社会参加意識を向上し、主体的な活動を促進する。
  - ・ 異年齢の人と交流し、青少年の見地を広げ、豊かな心を育成する。
  - ・ 青少年会議を実施することにより、行政のしくみを理解し、狛江市に愛着をもていただく。
- 主な会議内容
  - ◇ 会議開催挨拶  
児童青少年課長
  - ◇ 会議の概要を説明
    - ・ 青少年の主体的な活動を促進する。
    - ・ 青少年の視点からまちづくりなどについて提案する。
    - ・ 報告会を平成25年3月にエコルマホール展示多目的室で行う。
  - ◇ ファシリテーター（大場）自己紹介
  - ◇ アイスブレイク
    - ・ バースデイトライン（誕生日の一番早い順に並び）



### ◇ チームづくり（アイスブレイク後の並び順）

以下に決まる。

| チーム | 中学生                             | サポーター          |
|-----|---------------------------------|----------------|
| 1   | 高野翔太(一中1年)・伊藤礼紗(一中2年)           | 高田礼子・根本龍彦・杉本綾亨 |
| 2   | 井上桜(三中2年)・清水美里(三中1年)・今田理子(四中2年) | 内海貴美・湯浅直紀・高田博法 |
| 3   | 佐野潤平(二中2年)・金野未来(四中2年)           | 佐々木駿・藤田尚子      |

## ◇キャンプネーム

（米国の野外教育の現場で考え出されたもの。人種が多様な米国では名前によって出身地や人種がわかることがあり、野外活動の場で子どもたちに人種差別が起こらないようにと、つけられた。日本では、同じキャンプ等に参加した者は仲間である、という意識を持つために、お互いを認識するためのニックネームとして使用している。）

個人で考え、全体で発表する。

## ◇グループの名前

以下に決まる。

| チーム | 名前             |
|-----|----------------|
| 1   | COSMOS         |
| 2   | まめこま           |
| 3   | くじおきハイスピードグリーン |

## ◇ワークショップ

- ・KJ法（データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて、図解し論文等にまとめる手法）やブレインストーミング（集団でアイデアを出し合うことで、相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法）の説明。
- ・テーマは「動物園にいる動物」で練習を行う。
- ・各グループで作業を行い、ギャラリーウォークのやり方で他の班の結果を見る。
- ・練習後、テーマを「狆江ってこんなところ」「狆江の良いところ」「狆江の悪いところ」として、各グループで作業を行う。

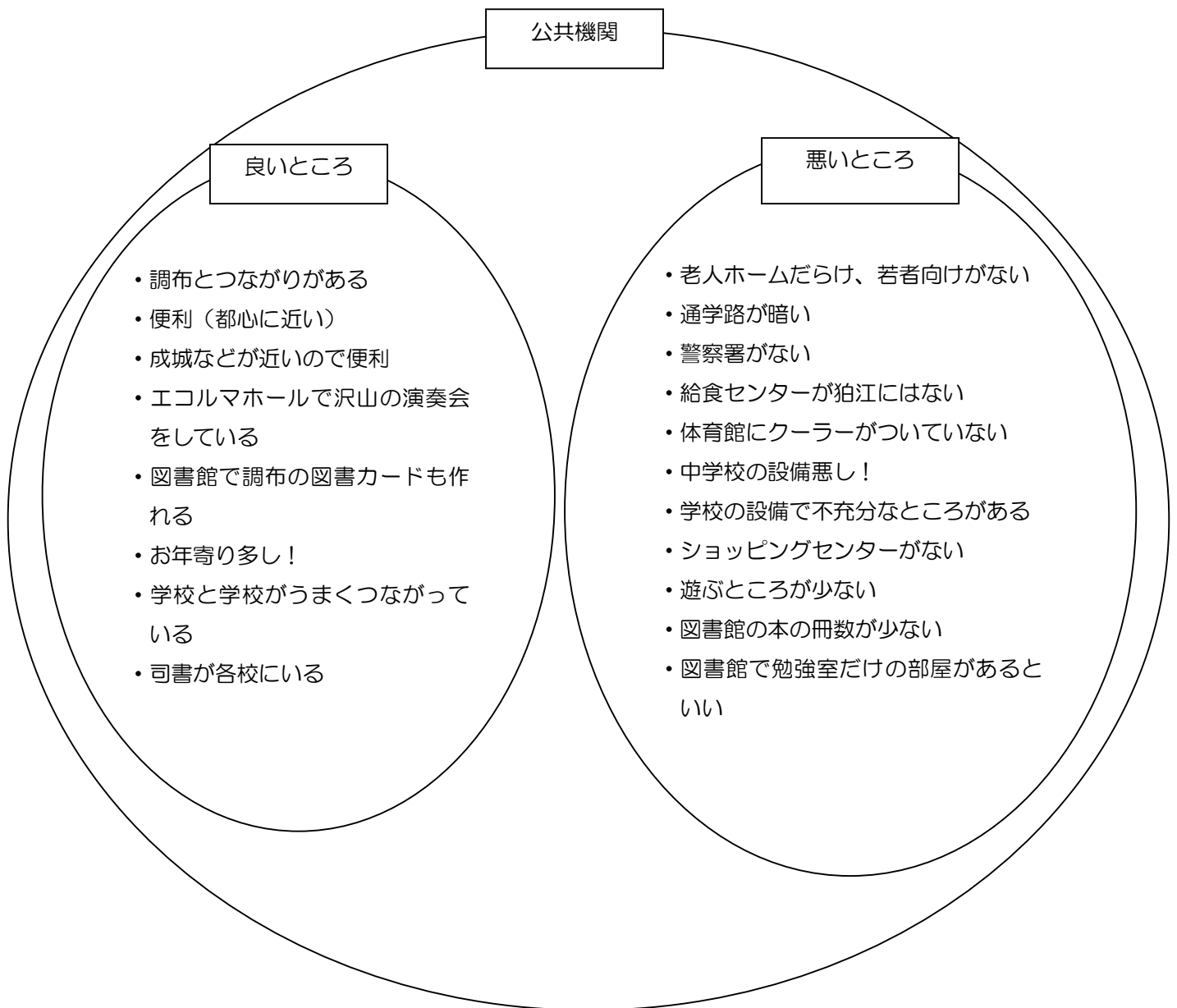


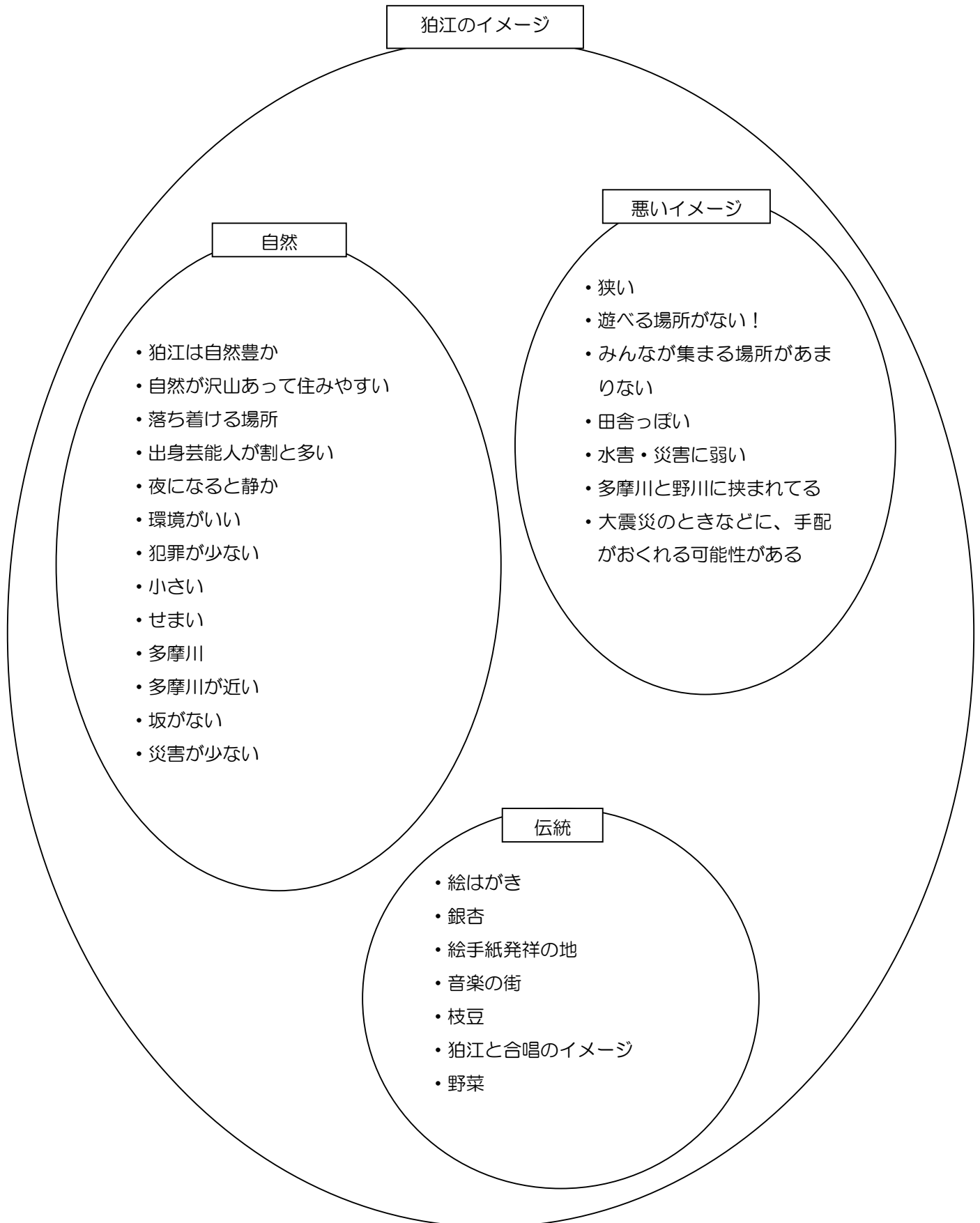
各グループの作業結果は次のとおり（原文のとおり）。

【COSMOS】 中学生…高野・伊藤(礼) / サポーター…高田(礼)・根本・杉本



【まめこま】 中学生…井上・清水・今田 / サポーター…内海・湯浅・高田(博)





【くじおきハイスピードグリーン】 中学生…佐野・金野 / サポーター…佐々木・藤田



## 第2回青少年会議について

○ 日時：平成24年11月18日（日）午後2時～4時10分

○ 場所：市役所特別会議室

○ 主な会議内容

◇第2回目の会議より初めて参加した中学生の挨拶（伊藤(遥)、斎藤、藤原、小川、田部谷）及びキャンプネームの決定。

◇チーム（誕生日順、早起き順）の割り振りは以下となる。第2回目の会議より参加した中学生を加えて決定。

| チーム                | 中学生                                        | サポーター       |
|--------------------|--------------------------------------------|-------------|
| COSMOS             | 高野・伊藤(礼)・斎藤みなも(二中2年)・木野一毅(三中2年)・田部谷凜(四中2年) | 高田(礼)・根本・杉本 |
| まめこま               | 吉村優斗(二中2年)・井上・清水・今田・小川侑美(四中2年)             | 内海・湯浅・高田(博) |
| くじおきハイス<br>ピードグリーン | 伊藤遥奈(一中2年)・佐野・藤原優紀(二中2年)・金野                | 小林・佐々木・藤田   |

◇アイスブレイク

- ・あと出しじゃんけん（身体を動かすじゃんけん）



◇ワークショップ

- ・前回のテーマは「狛江ってこんなところ」「狛江の良いところ」「狛江の悪いところ」であり、様々な意見を出し合った。今回のテーマは「狛江の良さを今後も活かし、悪いところを改めるためにできることを考えよう」とし、前回と同様に、KJ法やブレインストーミングを用いて、「自分たちにできること」「大人等に

お願いすること」について個人のアイデアを出す。

- 個人のアイデアをグループ内で発表し、集約してグループの意見として模造紙に意見をまとめる。
- 各グループで作業した結果を、順番に発表する。

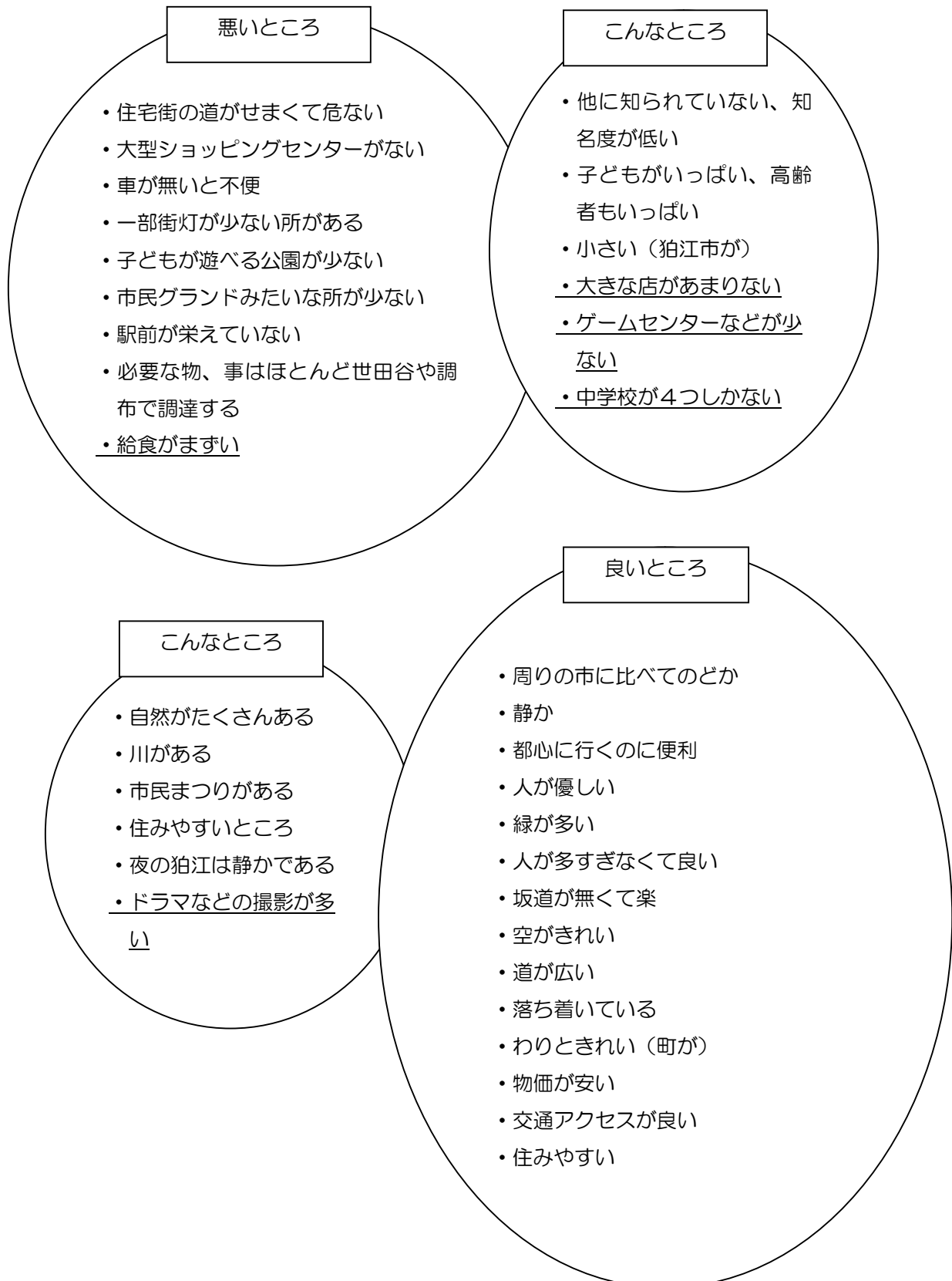


各グループの作業結果は次のとおり（原文のとおり）。

【COSMOS】 中学生…高野・伊藤(礼)・斎藤・木野・田部谷 / サポーター…高田(礼)・根本・

杉本

\* 第1回目会議時に作成（下線は、今回の会議で追記した箇所）



\*第2回目会議時に作成

## 学校系

## 市民系

### 中学校選択制

#### 校則

- 四中の校則が厳しすぎる、スカートの丈やセーターなど

#### 設備

- 中学校の体育館にエアコンをつけてほしい
- 校舎が古い

#### 部活動

- 部活で使えるお金を増やしてほしい
- 部活動の種類が少ない（四中の）

#### 給食

- 小学校みたいに学校で給食を作してほしい
- 給食センターを粕江につくってほしい
- 学校に食堂をつくってほしい

#### 子どもが遊べる場所

- ボールを使っていい公園が少ない
- 市民グラウンドの開放時間が少ないので増やしてほしい
- 小さい子だけではなく中学生が遊べる場所をつくってほしい

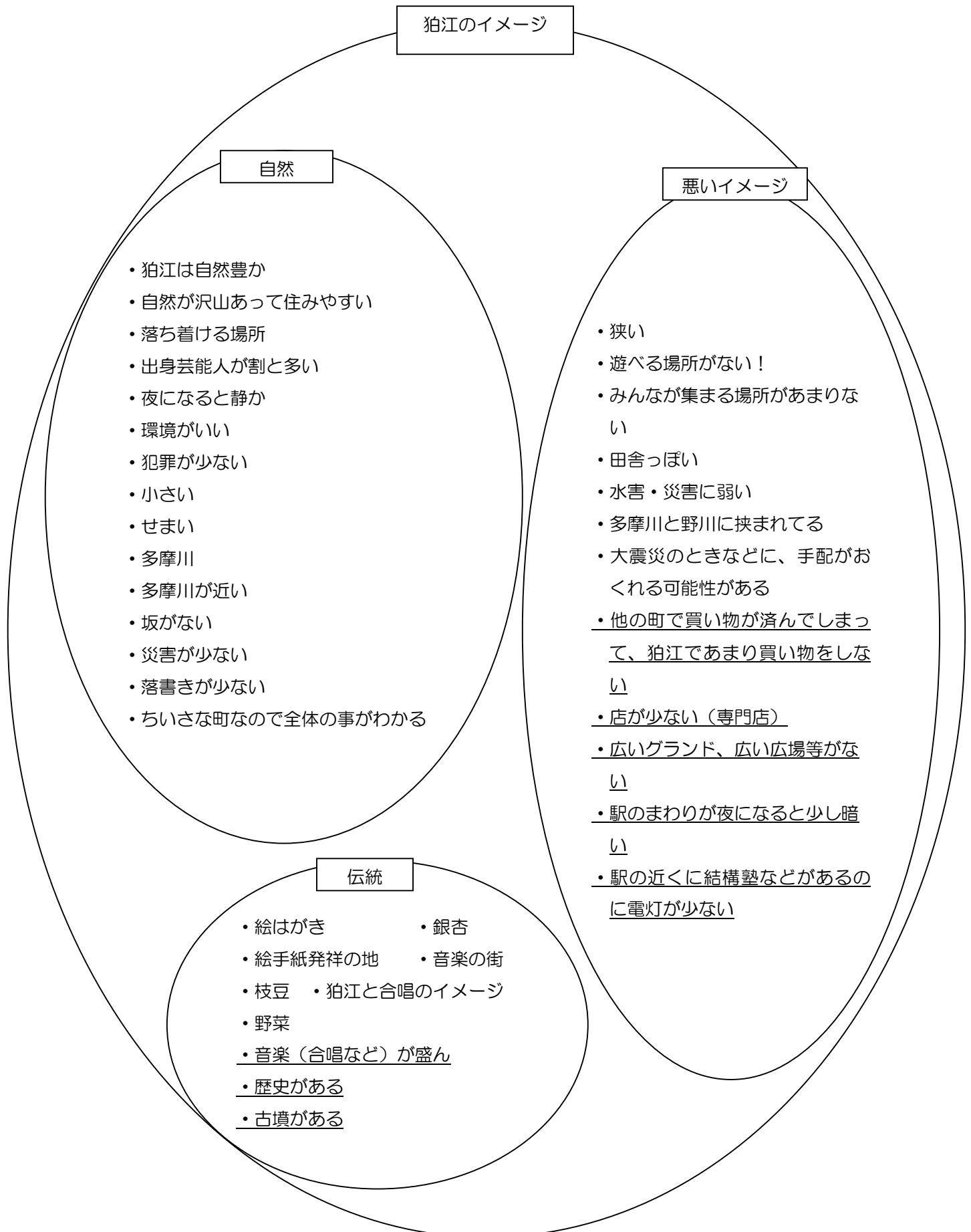
#### その他

- 庁舎を新築7階建て、4～7階は市民の為、コンサートホール、娯楽など
- 遊べる店をつくってほしい

【まめこま】 中学生…吉村・井上・清水・今田・小川 / サポーター…内海・湯浅・高田(博)

\* 第1回目会議時に作成（下線は、今回の会議で追記した箇所）





\* 第2回目会議時に作成

学校のことについて

- 通学路が暗いことについて
  - 通学路での犯罪防止のために優先的に外灯を設置する
  - 電灯を増やす
  - 別の明るい所を通る
- 学校の設備が悪い
  - 直せるところは主事さんなどをお願いしてみる
- 体育館にクーラーが設置されていないことについて
  - 密集空間の体育館で空調管理ができないのは危ない、だから早めに設置すべき、市が何とかする
- 図書館の本の冊数が少ないことについて
  - いらぬ本を寄付してもらって増やしていく（自分でもできる）
  - 最新の本を適度に購入する
  - 図書館の数は変えずに、一つ一つの図書館をもっと充実させる
  - 大きな図書館を建てて、本をたくさん（図書館）おいてもらう
- 三中、四中の部活が少ない
  - 一つの部活に何人もの先生がつくのではなく、新しい部活をつくって先生がまばらになればいい
  - 生徒につくってほしい部活を聞いて、人気が高いものを部活とする

防犯

- 落書きが少ない  
→環境を良くすると落書きが減るらしいので、公園などは常にきれいに掃除する
- 警察署がないことについて  
→置けばいい
- 駅の周りが夜になると少し暗い、電灯が少ない  
→事件が起きるのを防いだり、安全を守るため電灯を増やすべき  
→電灯の明るさ加減を変える、明るくする

公的な場所

- 遊べる場所が少ない。  
→遊ぶ場所やショッピングセンターを1つ1つ作るのではなく、ショッピングセンターの中に遊べる場所を一緒に作ればいい、そうすれば多く作れる
- たくさんある老人ホームを縮小し、そのスペースを子ども達のためのスペースとして活用する
- 落ち着ける場所  
→ベンチなどを増やしてみる

その他

- お年寄りが多い  
→高齢者の集まる場所に若者を働かせる
- エコルマでコンサートがいっぱい開かれている  
→どんどん増やして地域の活性化をする
- 大震災の時の対応の遅れについて  
→いつ災害がきてもいいようにハザードマップで非常時の食料を各家庭に配布しておく

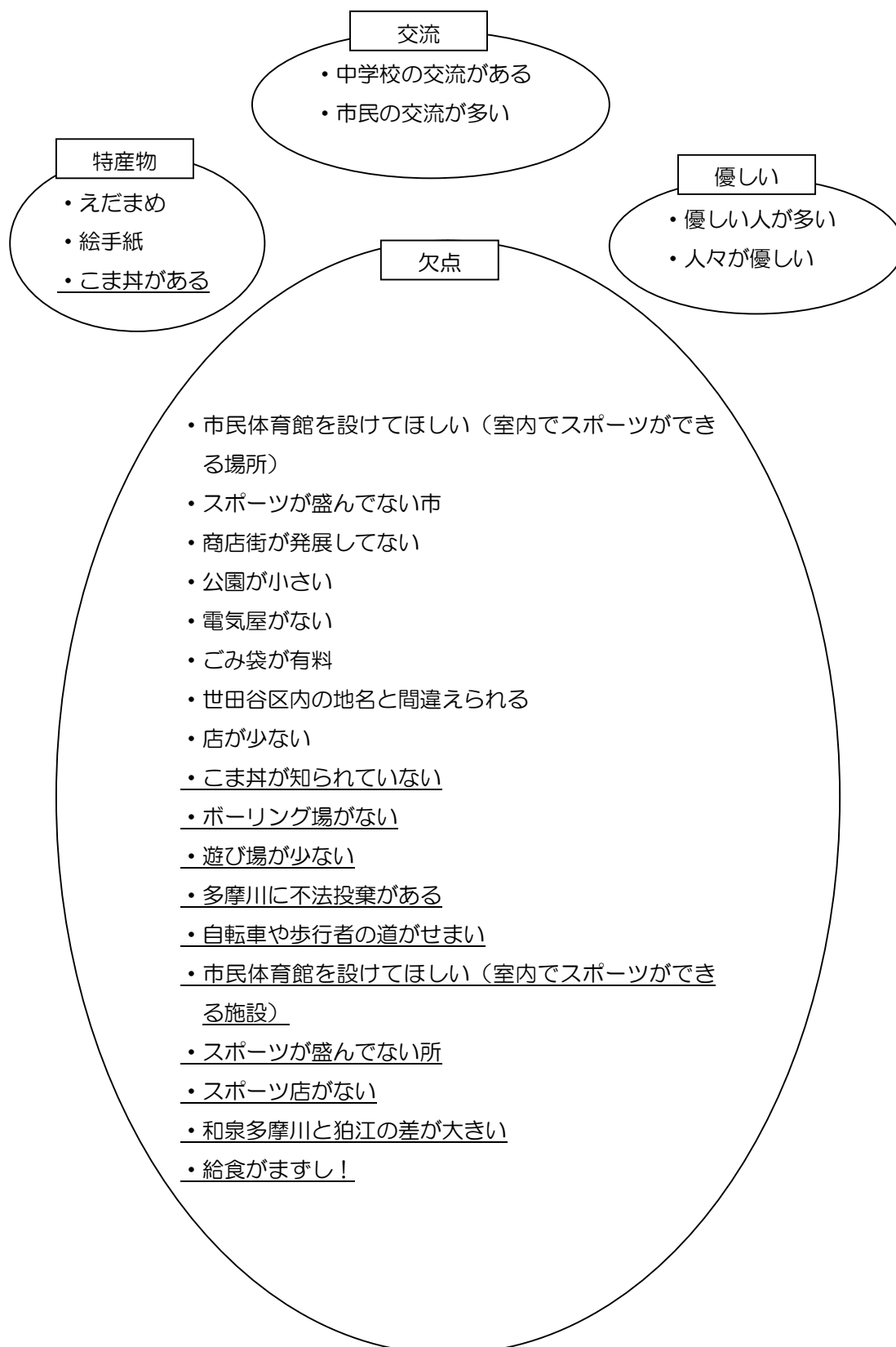
公共機関

- 文房具屋が少ない  
→もし、文房具屋をいちから作れないのなら、書店などの一部に文房具を置いて売ればいい  
→ペンなどの種類が豊富な文房具屋を建てる
- 便利（交通の便）  
→もうちょっとバスの本数を増やして、もっと便利にする（バスの会社）
- ショッピングセンターなどの遊べるところがない！  
→大きな店に複数の店が経営する（島忠みたいな）  
→みんなが作ってほしい所につくる（ここにあったら便利だと思える場所）
- 店が少ないこと（専門店）について  
→狛江で唯一大きい小田急ＯＸで文房具などの日常でよく使う品を置いてもらう

【くじおきハイスピードグリーン】 中学生…伊藤(遥)・佐野・藤原・金野 / サポーター…小

林・佐々木・藤田

\* 第1回目会議時に作成（下線は、今回の会議で追記した箇所）



どうしようもない

- 中学校の数が4つ（少ない）
- マンション・アパートが多い
- 小さい

～が近い

- 調布が近い
- 神奈川も近い
- 新宿まで30分

自然

- 多摩川がある
- 多摩川
- 自然に恵まれている
- 畑がある
- 自然がある
- 工場などが無いので空気がキレイ
- 多摩川でハイキング
- 市の木（イチョウ）市の花（ツツジ）いっぱい

～ほめ言葉～

- 元気で明るい市
- あいさつが活発な市
- 治安がいい
- 夜は静か、昼はにぎやかな市
- 夢や希望を与えてくれる市
- 色々な人と仲良くなりやすい
- 駅前で音楽がさかん
- 結構有名だと思う
- 狛江の人は（多くの場合）狛江のことが好き
- 住みやすい市
- 快適
- もめごとが少ない
- 大きな事件が起こりにくい
- 閑静な住宅街
- 高齢者に親切である
- 駅前（バスロータリーの辺り）がきれい
- ＯＸが良い

\*第2回目会議時に作成

良い所を伸ばそう!!!

ゴミ問題

- 多摩川に監視カメラ、不法投棄は厳罰
- 不法投棄  
→ 定期的に清掃を行い、不法投棄しないよう呼びかけたりする)
- 多摩川のゴミ拾いをする

こま井

- こま井のポスターを作る
- こま井をもっとPRする
- こま井を中学生がプロデュース!?

スポーツ王はオレだ

- 中学校別対抗スポーツ大会をやってほしい
- 四中戦を行うべき

lunch

- 狛江市の給食センターをつくってほしい

遊ぶ

- 公園の個数を減らして、大きな公園を何個か作る
- バasketコート平にしてほしい
- ボーリング場をつくろう!
- 公園を広くしてほしい

広げよう道

- 道を広げる
- 道路幅を広げてください
- 自転車専用の道をつくってもらう(市にお願い)

お店

- ヤマダ電機頑張ってください
- アディダスが頑張れば・・・

## 第3回青少年会議について

○ 日時：平成24年12月16日（日）午前10時～午後0時10分

○ 場所：市役所502・503会議室

○ 主な会議内容

◇アイスブレイク

・+2（口という漢字に2画足してできる漢字を書く）

◇ワークショップ

・前回の模造紙を参照後、宿題として考えてきた個人のアイディアを出し合い、グループ内で発表する。



・粕江の良さ（長所）を伸ばすための方策、粕江の悪いところ（短所）を改善するための方策を考え、その中で実行が難しいことは除き、各グループとして主張していきたいこと（具体的に自分たち等ができること）を考えて模造紙にまとめる。

各グループの作業結果は次のとおり（原文のとおり）。

【COSMOS】 中学生…高野・伊藤(礼)・斎藤・木野・田部谷 / サポーター…高田(礼)・根本・

杉本

## 自然をいかす

自分たちでできること

協力者がいれば  
できること

川がある

①河原掃除などを  
し、印象をよくする



①ゴミの大半が大人  
が捨てたものだから、  
見返りがあれば、  
子供もやと思う  
②学校協力を求める

①苗植えをする  
②小中学校の総合  
の時間を使って活  
動する



①市民協力で苗木を  
確保する、行政に場  
所を確保してもらう  
②学校協力を求める

## 学校をいかす

部活 給食 校則

放課後・休日をいかす

子供が遊べる  
場所が少ない



①ルールを  
作る  
②ゴミ集め  
の見返り  
③施設に貢献

①校庭・市民グ  
ランド・市民体  
育館を開放する  
(協力者がいれ  
ばできる)

【まめこま】 中学生…吉村・井上・清水・今田・小川 / サポーター…内海・湯浅・高田(博)

～市内の活性化～

[狛江市内の今の現状]

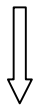
治安がいい

ドラマなどの撮影が多い

落書きが少ない

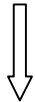
住みやすい

犯罪が少ない



自分たちでできること

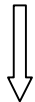
- ・落書き防止のポスターを作り、呼びかける
- ・市内や多摩川をきれいにすることで、人が集まり地域の活性化



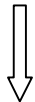
学校で定期的に市内を掃除する

(小・中学校と交流を深めながら掃除する行事を設ける)

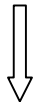
ドラマなどが多いので色々な所をきれいにする、落書きが少なくなる



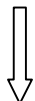
犯罪が減り（起きにくくする）



環境面でも安全面でも住みやすくなる



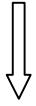
住みやすくなるから市（地域）の



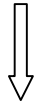
例えば・・治安が良くなることで地域で仲良くなれる

～図書館～

専門書が少ない



狛江のアピールしている部分の専門分野（絵手紙、音楽の街）の物が少ない



（例）音楽書、美術関係の本

音楽の街ということで、コンサートだけではなく色々な面で活動してほしい

図書館の本の冊数が少ない



自分たちでできること

★いらなくなった本を寄付する



学校で持ち寄って市内の図書館に渡す

★公民館で会場を設けて集める

【くじおきハイスピードグリーン】 中学生…伊藤(遥)・佐野・藤原・金野 / サポーター…小

林・佐々木・藤田

多摩川に不法投棄がある

- 定期的に清掃を行う
- 不法投棄できないような雰囲気をつくる
- 学校対抗でゴミ拾いの大会などを行う

スポーツが盛んでない

- 四中対抗戦（文化系）  
百人一首、将棋、チェス、人生ゲーム（グラウンドで）、合唱
- 四中対抗戦（スポーツ系）  
駅伝、ドッチボール、綱引き→スポーツを通して市内の四中学校が交流を深めるとともに、各中学校での団結をはかれる

もめごとが起こりにくい

- いじめ防止ポスターを作る→貼る
- 校内でパトロール（いじめ）をする
- 良い空気づくりをする→会議や話し合いの場を設ける（月1で四中で）

- ・優しい人が多い・高齢者に親切・こま井PR
- ・駅前や学校の校門前で通勤の社会人にあいさつ・市民の交流が多い

- ・老人ホームに行き、合唱する
- ・中学生が駅前に立ってあいさつをする→伝統にする
- ・中学生主体のお祭りを行いつつこま井PR！
- ・お互いがお互いを思いやる気持ちを大切にする

実行が難しい

- ・ゴミ箱を増やす
- ・街灯が暗い
- ・大きな公園設置（遊具なし）
- ・道幅がせまい

## 第4回青少年会議について

○ 日時：平成25年1月19日（土）午前10時～午後0時20分

○ 場所：市役所特別会議室

○ 主な会議内容

### ◇アイスブレイク

- ・部屋の四隅（四隅をそれぞれ、はい、いいえ、まあまあ、わからないとして、質問に回答していく。）

### ◇ワークショップ

- ・前回のテーマである、狛江の良さ（長所）を伸ばすための方策、狛江の悪いところ（短所）を改善するための方策を考え、その中で実行は難しいことを除き、各グループとして主張していきたいことを考える。
- ・テーマに沿って、具体的に自分たち等ができることを模造紙にまとめる作業を行う。
- ・前回作成の模造紙を参照後、各グループごとにその内容を発表し、他グループから質問を受ける。



### ◇報告会の発表形式等について説明

- ・ファシリテーターである大場サポーターより、報告会に向けて発表形式等の説明を行う。
- ・報告会は平成25年3月10日（日）に行い、各グループごとの主張を記載した模造紙を使用する。
- ・来場者には、模造紙に記載した内容の縮小版を配布する。
- ・各グループの発表時間は、15分～20分程度を予定。

## 第5回青少年会議について

○ 日時：平成 25 年 2 月 16 日（土）午前 10 時～午後 3 時

○ 場所：市役所特別会議室

○ 主な会議内容

### ◇アイスブレイク

- ・部屋の四隅（四隅をそれぞれ、はい、いいえ、まあまあ、わからないとして、質問に回答していく。）

### ◇ワークショップ

- ・前回の会議でまとめた内容について再検討を行い、前回欠席した中学生の意見を取り入れながら、各グループとして主張していきたいことを考え、報告会用資料（模造紙と発表原稿）を作成する。
- ・各グループの主張に対して、想定質問を考える。



## 青少年会議報告会 ―平成25年3月10日(土)―

○井上課長 青少年会議報告会にお越しいただきましてありがとうございます。私は本日の司会を務めます児童青少年課長の井上と申します。よろしくお願いいたします。早々ですが、報告会に先立ちまして、狛江市青少年問題協議会の会長でもあります狛江市長より挨拶をいただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

○市長 皆さん、こんにちは。紹介のありました市長の高橋でございます。今日は急激に見通しが悪くなりまして、やはりお隣の国からでしょうか。黄砂が飛んでくると私も花粉症ですので、少し恐怖を感じるころなのですが、こういう状況にもかかわらずご来場いただきまして誠にありがとうございます。



この青少年会議、私も初めて出るわけですが、青少年問題協議会と市役所の共催ということで隔年実施なもので、今回で3回目ということになります。中学生の皆さんには10月から、まず狛江の良いところ、悪いところから解き起こして、狛江のために何ができるかということをもとめてもらっているわけですが、普段学校で学べないようなことを、非常に多くのことが学べたのではないかと思います。その過程も大事だと思いますが、今日皆さんがどういう結論を持って来てくれたかを楽しみに聞きたいと思います。

そして10人のサポーターの皆さん、本当にご苦労さまでした。ある意味では、サポーターの皆さんに私は注目しておりまして、中には今高校生で第1回目の青少年会議に参加した人もおられるようすし、それから育成委員会で活躍いただいている方もいますし、それから成人式などで実行委員を務めてもらった人もいます。そういう皆さんのご苦労は改めて別の場でお聞きしたいと思っておりますが、今後の狛江の将来を担って立つ皆さんだと期待しておりますので、その意味でもよろしくお願いいたします。

結びに、本日保護者の皆さんもお見えです。それから学校関係の皆さん、本当に今回の開催に当たりましてはお世話になりました。ありがとうございます。そのことを申し上げて私からの挨拶とさせていただきます。今日はよろしくお願いいたします。

(拍手)

○井上課長 どうもありがとうございました。

それでは、私から青少年会議の概要について、簡単にご説明いたします。

狛江市青少年会議は、狛江市次世代育成支援行動計画に基づきまして、狛江市と狛江市青少年問題協議会の共催で行い、狛江市のさまざまな問題に対して青少年の視点から幅広い意見と発表の場を設け、青少年の主体的な活動を促進する目的で、平成2

〇年度より隔年で開催しております。

青少年会議の全体目標といたしましては、①青少年の社会参加意識を向上し、主体的な活動を促進する。②異年齢の人と交流し、青少年の見地を広げ、豊かな心を育成する。③会議の報告書を作成し、市長へ報告することです。この目標を主眼に置きまして、中学生14名と大学生を含む社会人サポーター10名で構成される各グループごとに、中学生が中学生自身の言葉で未来のまちづくりの提案をするため、ワークショップといたしましてKJ法やブレインストーミング等を取り入れながら、活発に議論を重ねてまいりました。大人を目線から見ましたら中学生の視点はまだ未熟かもしれませんが、粕江市の未来のために中学生が考えた主張をぜひお聞きくださるようお願いいたします。

それでは、ただいまより司会進行をこの会議のファシリテーターである大場さんに引き継ぎをさせていただきます。大場さん、よろしくお願いいたします。

〇司会（大場） 皆さん、初めまして。

今回、ファシリテーターをこの報告会で務めさせていただきます大場と申します。本日はお忙しい中、また少し天候も悪い中お越しいただきまして、ありがとうございます。

私からは、今、井上課長からお話があったところの補足といたしまして、青少年会議を今回こういった形で進めてきたかというところをスライドにまとめましたので、こちらを使って説明をさせていただきたいと思います。準備をいたしますので少々お待ちください。

では、概要の説明ということで始めさせていただきます。先ほどもお話があったので繰り返になりますが、この青少年会議の目的は主に2つございます。まずは青少年の社会参加意識を向上し主体的な活動を促進すること、これが1点目です。2点目としまして、異年齢の人と交流をし、青少年の見地を広げ豊かな心を育成する。これが主な2つの目標になっています。



先ほど市長からもお話がありましたが、過去2回開催をしております、今回で3回目になります。第1回としては平成21年2月4日にこのような会で報告会をさせていただきました。テーマは、中学生の居場所についてということで初回発表をさせていただいております。また、一昨年の第2回ですけれども、こちらは平成23年3月19日の土曜日に開催いたしまして、発表のテーマとしては、私たちは粕江の大統領ということで、各グループごとにマニフェストというものをつくって、それぞれのグループがこの場で発表するという形をとらせていただきました。

そして、各中学生にこの後発表をしていただきますが、今回の青少年会議のテーマ、

狛江のために私たちができることというテーマで発表をしていただきます。

概要ですが、今日の報告会を含めて6回、それまでに5回会議を開催しています。初回は昨年10月21日です。会議の参加メンバーですが、中学生は14名、市内の中学一、二年生になります。サポーターは私大場を除いて9名と事務局でサポートに入ってくださっている方が5名で、計30名で行っておりました。今回は3グループに分けて会議を進行し、今日の報告会での発表内容を検討してもらっています。グループ名をこちらに記載しておりますが、くじおきハイスピードグリーン、COSMOS、まめこまという3グループの名前で今日は発表をさせていただきます。

ここからは、少し全5回の会議の活動の様子を写真でご紹介したいと思います。最初の第1回は、このような形で始まりました。市内の中学生14人、まだ面識も全然ないような状態だったので、お互いを知ろうということで、アイスブレイクというレクリエーションをやっているところです。誕生日が早い順に並ぶというようなことをやっていたと思います。次は、テーマ決めです。まずはこういったことをやろうかというところで、狛江ってこんなところ、狛江の良いところ、悪いところというような形でブレインストーミングをしました。これがブレインストーミングの風景です。付箋に書いたものを模造紙に貼ってグルーピングをしていきます。1回目にできたのがこんな形の成果物になります。

引き続き第2回はそこからさらに話を発展させていきまして、少しずつ中学生の皆も積極的に議論に取り組んでくれています。中では、グループの中で話し合ったことを会議の中だけで発表する練習をしようということもやりました。今表示されている写真は、全体を後ろから撮ったものです。

第3回目はいよいよ12月なので、もうそろそろ報告会の話を考えていこうと、いろいろと考えているところです。3回目にもなってくると皆さん仲も良くなって、和気あいあいとやっているような感じかと思います。

4回目については少し飛ばしまして、先月開催した第5回目は報告会へ向けて今日発表する資料の作成と、パソコンで今日発表する内容の原稿を各グループごとに考えていただきました。

おしまいになりますが、本日の報告会では中学生が狛江について、私たちに何ができるかというところを自分たちの言葉で発表をさせていただきます。グループごとに一生懸命考えたものですので、ぜひそこには耳を傾けていただきたいと思います。中学生の自由な発想で今回それぞれのグループで発表しておりますので、大人の皆さんから見ますと多々至らない点等あるかと思いますが、ここまでまとめてきて発表にこぎつけたというところをぜひ見ていただきたいと思いますので、温かい目で見守っていただければと思います。また、各グループごとの発表が終わった後には、他のグループの中学生が質問をして、その発表しているグループの中学生が答えるというような形で、中学生同士のやりとりで今回報告会を進めていきたいと考えております。

最後になりますが、今回この報告会では報告書を作成いたしまして、狛江市に提出

をさせていただきたいと考えております。

少し長くなりましたが、私からの概要報告は以上になります。

それでは次に、中学生の発表へ移っていきたいと思います。まずはくじおきハイスピードグリーンというグループから発表していただきたいと思いますので、準備をお願いします。

〇くじおきハイスピードグリーン（佐野）

狛江第二中学校2年の佐野潤平です。よろしくお願いします。（拍手）

〇くじおきハイスピードグリーン（藤原）

狛江第二中学校の藤原優紀と申します。よろしくお願いします。（拍手）

〇くじおきハイスピードグリーン（伊藤）

狛江第一中学校の伊藤遥奈です。よろしくお願いします。（拍手）

〇サポーター（藤田） サポーターの藤田尚子です。よろしくお願いします。（拍手）

〇サポーター（佐々木） サポーターの佐々木駿です。よろしくお願いします。（拍手）

今回の発表について、私サポーターの佐々木から説明をさせていただきます。

まず名前の由来が、くじおきハイスピードグリーンということで、くじおきというところから説明ですが、各中学生とサポーターの一部から名前を取りましてくじおきという名前になりました。その次はハイスピードという、ここにいる中学生の佐野君の足が速いということで、ハイスピードという名前をつけさせていただきました。最後のグリーンですけれども、単純な理由で歌手のグリーンが好きだからということでこのグループ名にさせていただきました。

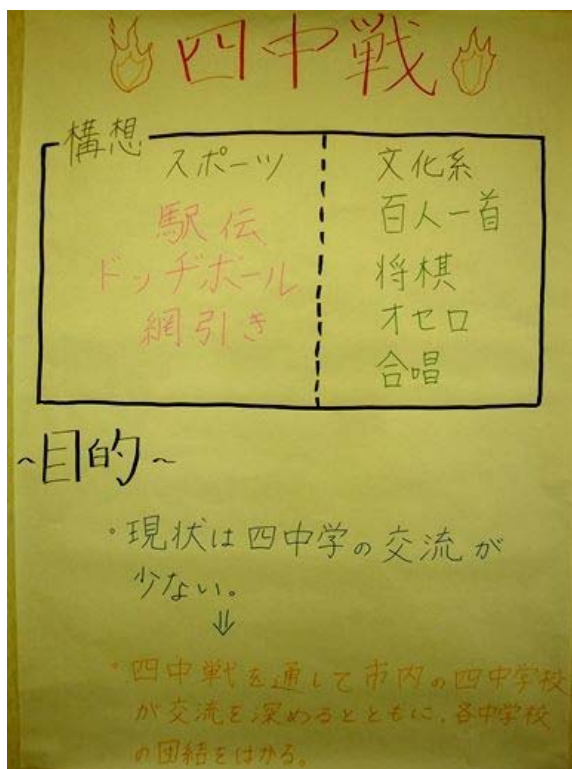
発表の内容についてですが、我々中学生とサポーターが10月の中ごろから青少年会議というこの場をお借りして、狛江市について話し合ってきました。始めは、まず狛江市の良い点から話し合いを続けてきまして、その中で、今回の発表の原点となる狛江の悪いところに話が移りまして、その後、2点意見が出たのは、やはり四つの中学校の中でなかなか交流が少ないという点と、もう一つは多摩川の不法投棄などの問題で見えが悪いという点で、この2つの問題について話し合いを続けてきました。ご清聴いただければ幸いです。

それでは、中学生の発表に移りたいと思いますので、中学生お願いします。

〇くじおきハイスピードグリーン（佐野） くじおきハイスピードグリーンの発表を始めます。

私たちは、狛江のためにできることとして、次のことを提案します。





まず、市内の四つの中学校が合同で競い合う四中戦を開催したいと考えました。この企画では、スポーツが好きな中学生と文化系の競技が得意な中学生がともに楽しめるものを目指しています。スポーツ系の競技としては、駅伝、ドッジボール、綱引き、文化系では百人一首、将棋、オセロ、合唱という案を出しました。

四中戦の目的は、先ほどサポーターの佐々木さんがおっしゃったように、現状は四中学校の交流が少ないことから、四中戦を通して市内の四中学校が交流を深めるとともに各中学校の団結を図るということです。

方法を説明します。スポーツ系の競技として挙げているものについてですが、まず駅伝のイメージは1月1日などに行われた箱根駅伝があるように、四中学校の代表を決めて多摩川で行いたいと考えています。

次に、ドッジボールについては、だれにでもできるので全員または希望者が参加して、場所は四中学校の校庭もしくは市民グラウンドで行いたいと考えています。また、雨天時にドッジボールは体育館の中でもできるということで、この案を挙げさせていただきました。綱引きは四中学校のうち一番広い二中のグラウンドで行いたいと考えました。

〇くじおきハイスピードグリーン（藤原） 次に、文化系の競技について。百人一首は大人数でできる源平戦で対戦したいと思っています。源平戦とは二、三人のグループでチームをつくり対戦することです。将棋とオセロは、競技人口をまず中学校で把



握し、人数が集まれば四中学校の先発メンバーが中学校の体育館や集会室で行います。

次に、合唱は四中学校の体育館や可能ならばエコルマホールを借りて行いたいです。また、現在行われている連合音楽会を四中戦に組み込む考えもあります。

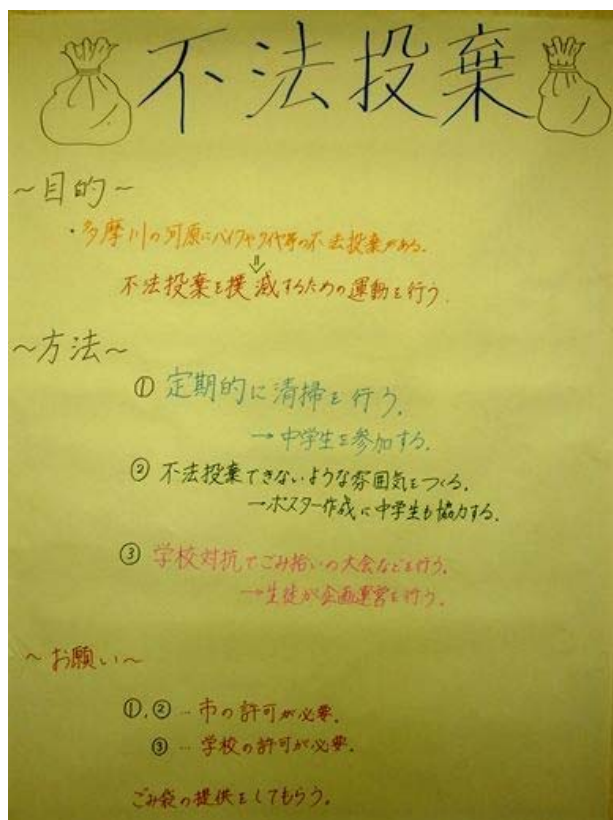
以上に挙げたような競技の各点数をつけて総合得点で四つの中学校で競い合います。この四中戦を行うに当たって企画部を各中学校でつくることになるので、話し合いの場を設けてほしいというのが私たちの願いです。

〇くじおきハイスピードグリーン（伊藤） 次に、私たちは粕江のためにできることとして、もう一つ提案をします。

以前から、多摩川に不法投棄があるという意見がありました。そこで、この問題を解決するためにどうしたら良いかを考えました。意見として出たのは、定期的に清掃を行う、不法投棄できないような雰囲気をつくる、学校対抗にしてごみ拾いの大会などを行うということでした。定期的に清掃を行うという意見では、私たち中学生は清掃に参加したいと考えています。不法投棄できないような雰囲気をつくるという意見では、ポスター作成などに中学生が協力できます。学校対抗のごみ拾い大会では、生徒側は企画運営を行えると思います。今も清掃は行われていますが、もっと活発にしていってもきれいな多摩川を目指したいと思っています。不法投棄できないような雰囲気がこれらによってつくられると思います。学校対抗のごみ拾いを大会にすることで盛り上がると思います。具体的には、重さを比べ順位をつけようと考えています。その中で粕江市にお願いしたいことは、定期的に清掃を行うことができる許可と各中学校の許可、ごみ袋の提供をお願いしたいと考えています。このようにさまざまな工夫をすることで、もっときれいな多摩川に近付くと思います。

以上で、くじおきハイスピードグリーンの発表を終わります。（拍手）

〇司会（大場） くじおきハイスピードグリーンの皆さんありがとうございました。



もう皆さん多分ご覧になっていると思いますが、お手持ちの資料、こちらの模造紙をコピーしたものになりますので、後ろの座席で見えない方はそちらも一緒にご覧になっていただければと思います。最初から1、2、3ページ目まではくじおきハイスピードグリーンのレジュメになっております。

では、先ほどお話したとおり、ここからは中学生同士の討議というところに入っていきたいと思いますが、この2つの中で質問がある中学生の人は手を挙げてください。○まめこま（清水） 多摩川清掃のポスター作成と言っていましたが、ポスターはどこに貼るのかということと、ポスターの範囲についてはどう考えていますか。

○くじおきハイスピードグリーン（伊藤）

ポスターは、市内の目につくところを中心に、できれば川の近くに置きたいと考えています。今後どこに設置させてもらえるかは検討していきたいと思っています。管理については、清掃の度に変えたいと考えています。

○司会（大場） ありがとうございます。

今、不法投棄に関して質問がありましたが、他に四中戦でも何か質問はありますか。



この四中戦は過去、今回で3回目になりますが、実は毎回出ているテーマで、3回とも参加してくださっている方もいるかもしれませんので、お聞きになっている方も多いとは思いますが、個人的な感想としてはここまで具体化してきたのはやはり3回やっているからかなというところがありまして、競技を具体的に絞ってもらったり、文化系もやろうという話が出たのは、実は今回が初めてではないかと感じています。これは個人的な感想ですが。

他に何か中学生の質問はありますか。ないでしょうか。では、質問して良いですか。将棋、オセロを文化系でやるという話ですが、実際に今、各中学校でどれくらい競技人口があるかわかりますか。

○くじおきハイスピードグリーン（藤原） 二中では将棋部がありまして、大会に出て優勝など、結構優秀な成績を収めている方がいます。

○司会（大場） 一中はどうですか。僕も実は一中卒業なのですが、そのときはまだ将棋部、オセロ部というのはありませんでしたが、今もないでしょうか。では、そこは今後どんどん募ってやっていくというような形でしょうか。

あと合唱についてお聞きしますが、なかなか点数はつけづらいのではないのでしょうか。オセロや百人一首というのは勝ち負けがあるので、どこの中学校が優勝とか1位、2位ってつけられると思うのですが、合唱について、点数はどう考えていますか。

○くじおきハイスピードグリーン（藤原） 合唱では、やはり協力性や合唱に対する姿勢と、あと曲のイメージをつかんでいるか、表現力などいろいろな観点があるので、それで点数をつけられるのではないかなと思います。

○司会（大場） 点数はつけるということですか。

○くじおきハイスピードグリーン（藤原） そうです。

○司会（大場） 誰がつけるのですか。

○くじおきハイスピードグリーン（藤原） 各中学校の音楽の先生など。

○司会（大場） では、そこをお願いしてやってもらうという形ですね。はい、わかりました。

では、時間の都合上もありますので、ここでくじおきハイスピードグリーンの発表は終了にしたいと思います。続けて、あと他に2グループありますので、中学生の皆さん、そちらで何か質問があればどんどんしてください。

くじおきハイスピードグリーンの皆さん、ありがとうございました。（拍手）

次のグループ準備をお願いします。

では、続けてCOSMOSのグループから今回の青少年会議の報告内容の発表をしていただきます。よろしくお願いします。

○COSMOS（高野） これからCOSMOSの発表をします。

メンバーは、狛江第一中学校の高野翔太、伊藤礼紗、狛江第二中学校の斎藤みなも、狛江第四中学校の田部谷凜です。

○サポーター（根本） 続きまして、サポーターは高田礼子、杉本綾亨、そして私根本龍彦です。

よろしくお願いします。（拍手）

まず、COSMOSのグループ名の名前の由来ですが、COSMOSは中学生が合唱コンクールで歌った合唱曲の名前を由来としております。お手元の冊子の3ページ、4ページ目をごらんください。私たちは、狛江の良いところ、悪いところをざっくばらんに話し合っていく中で、狛江の良いところ、また既存の施設や自分たちの学校自体を生かして活性化させていこうという考えでまとまりました。日ごろ凄く部活動や学業で忙しい中学生が一生懸命にまとめたものなので、温かく見守っていただけると幸いです。それでは、中学生よろしくお願いします。

○COSMOS（高野） では、始めます。

まず、自然を活かすです。私たちは、狛江の良いところは豊かな自然だと思います。これからも守っていきたいです。そのために中学生の自分たちが率先してできることは多摩川清掃です。ただ、現在河原のごみのほとんどが大人のポイ捨てや不法投棄したものだと思います。そのため中学生が清



掃をすることに対して見返りが欲しいです。

見返りの内容は、この後、放課後・休日を生かすというところで説明させていただきます。河原清掃の他にも緑を守り増やす努力をします。これは協力者が必要です。市民の皆さんに幅広く苗木の提供を求めます。公園や道路わきなどに苗植えをします。これは市の協力が必要です。また、小・中学校の協力をお願いし、総合の時間を活用して苗植えを実施します。自然保護の大切さを子供のうちから学ぶことができます。

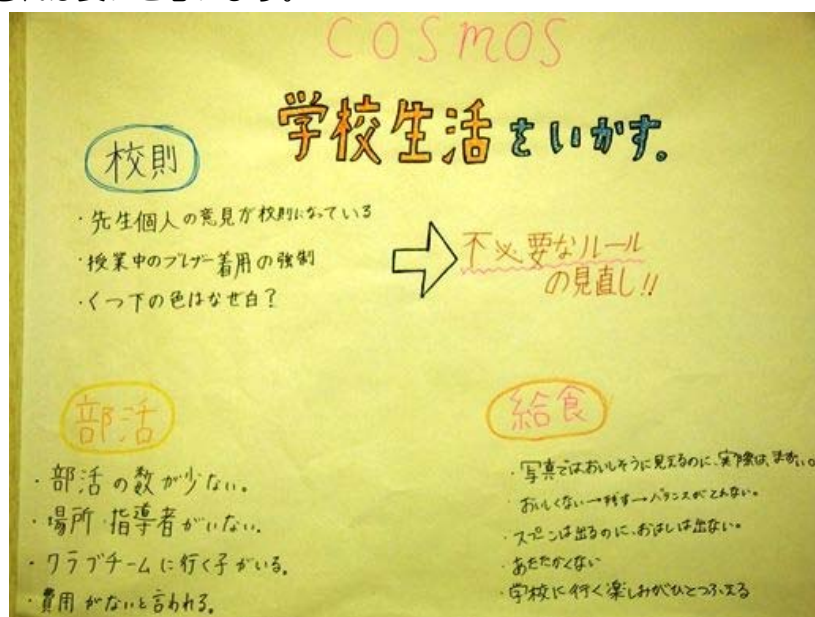


○COSMOS（斎藤） 次に、放課後・休日を生かすということですが、中学生が遊べる場所が少ないです。校庭、市民グラウンド、市民体育館を定期的に開放してほしいです。予約なしで誰もが自由に使えるようにしてほしいです。これが先ほどの河原清掃の見返りです。ただし、施設利用のために定められている決まりの他にも、自分たちでルールづくりをします。放課後、使用後の清掃などで施設に貢献します。今、小学生以下は使用できるグラウンドがあるのに中学生以上は自由に使用できる場所がありません。また、市民グラウンドも金曜日に1時間だけの開放では不十分です。月に1度か2度市民グラウンドや市民体育館の開放日をつくってほしいです。できれば小・中学校の校庭も開放してほしいです。

○COSMOS（田部谷） 最後に、学校を生かすです。今回四つの中学校が集まったところ、それぞれの学校で校則がばらばらだということがわかりました。その理由の一つとして、先生個人の意見が校則のようになっているということです。先生によって言っていることが違います。やはり決



まりが統一され、生徒全員の理解できるものではないといけないと思います。生徒手帳にある校則は、あまり徹底されていません。授業中のブレザーの着用の強制は必要ないと思います。気候に合わせてブレザーを脱いでも自分たちは服装の乱れにつながらないと思いますし、靴下の色も白限定になっていますが、黒やグレーなど華美にならないものという程度で良いと思います。結論として、 unnecessary ルールはできれば生徒の意見も取り入れながら見直してほしいです。各学校で、学校と生徒がお互いに意見を交換できれば良いと思います。



部活動については、数が少ないです。また、指導者がいない、活動場所がないなどを理由に部活動の種類が限られています。今ある部活を見直して、こんな部活が欲しいという要望を聞いてほしいです。教室は空いているのだから、指導者は体育指導者でも良いと思います。今、ダンス部があれば良いなという声があります。体育の授業でも必須になっているので、部活動があっても良いと思います。部活動が充実すれば、部活動を目的に粕江の〇〇中学校に入学したいという希望者も出てくると思います。私立よりも粕江の中学校を選ぶ人も増えると思います。

〇COSMOS（伊藤） 学校給食については、先日来年度のランチボックスの廃止が決まりましたが、青少年会議で話し合ったことを報告します。

ランチボックスの注文表にある写真は、美味しそうに見えるのに、実際は違いました。まずい、残す、栄養バランスがとれないと悪循環につながります。給食が美味しくない理由の一つは、冷めているからでした。給食が美味しいと学校に来る楽しみが増えます。今後、平成27年度の9月に給食センターができて、学校給食が充実したものになれば



良いと思います。しかし、私たちが卒業するまでの間、以前、狛江第一中学校で実施されていたパンの販売やおにぎりの販売などをしてほしいと思います。パンなどを買うお金はきちんと金額を設定して、余分なお金を持ってこないように生徒会などで働きかけていけば良いと思います。

○COSMOS（高野） 以上で、COSMOSの発表を終わります。ありがとうございました。（拍手）

○司会（大場） COSMOSの皆さん、発表ありがとうございました。

では、先ほどと同じように、ここから中学生同士の質問に入っていきたいと思いますが、中学生で質問がある方は挙手をお願いします。マイクを持っていけます。

○まめこま（井上） 小・中学校の校庭の開放ということを書いていらっしゃるのですが、その中で小・中学校の校庭の開放について、それを誰が管理するのかということは、どのように考えていますか。

○COSMOS（伊藤） 中学校は生徒会なので、小学校は先生の方で連携してやってもらいたいと思っています。

○司会（大場） 他に質問したいという人はいますか。

今出た、放課後・休日を生かすというところで、定期的に関放してほしいという話がありましたが、それに関してどなたか感想などお持ちの方がいらっしゃいましたらご意見を伺いたいと思いますが、どなたかいらっしゃいますか。

○くじおきハイスピードグリーン（佐野） 苗木はどこに植えるのでしょうか。

○COSMOS（高野） 発表にもありましたが、公園や道路わきなどに植えられたら良いと思っています。

○司会（大場） 具体的に、例えばどこの公園にと考えてたりしていますか。

○COSMOS（高野） 具体的な公園はまだ挙げていないです。公園の中でも緑が少ないところなどに植えられたら良いと思っています。

○司会（大場） そういう公園は、今自分が思うところで良いのですけれども、例えば、ここが少ないなと思ったりするところはあるですか。COSMOSの他の中学生でも良いです。



例えば喜多見の車両基地の上に公園がありますが、知っていますか。あそこは狛江市ではなく世田谷区なのですが、行ったことがありますか。あそこは結構緑がありまして、芝生があったり木がいっぱい生えていたりとかして、こういうところがちゃんとできている公園なのかなと個人的には思いますが、そういうふうにしたい公園はどこにありますか。

○COSMOS（高野） 緑が少ないのは七小跡地の公園が少ないです。これからで

きるところには、緑を最初から多くしてもらえればと思います。

○司会（大場） はい、わかりました。ありがとうございます。あとは、給食のところで少し会場の皆さんからも笑いが漏れていましたが、今発表してくれたのは一中の伊藤さんですが、他の中学校、二中と四中の中学生がCOSMOSにはいますが、やはり給食は同じような感じでしょうか。答えてもらえますか。

○COSMOS（田部谷） 一中と同じです。

○司会（大場） やはり冷めていますか。

○COSMOS（田部谷） 冷めています。

○司会（大場） 写真とも違いますか。

○COSMOS（田部谷） 違います。

○司会（大場） 違うのですね。二中はどうでしょう。

○COSMOS（斎藤） 二中も同じです。あまり美味しくないです。

○司会（大場） そうですか。三中の人はいますか。三中はどうですか。

○まめこま（井上） 三鷹の配送センターから来るのですが、スープなどが出ます。お弁当ではなくて給食のときはスープなどがとても良いのですが、おかずなどが少し味が濃かったりして、あまりヘルシーではないのかなとやはり思います。ただ、私の個人的な感想で言えば、ご飯などはそこまで冷めてはいないので良いのですが、給食に異物があるという話も聞くので、少し危ないなと思います。

○司会（大場） はい、わかりました。ありがとうございます。給食に関して少し質問をしましたが、あとは学校生活を生かす。校則に関して何か質問はありますか。さきほど、先生個人の意見が校則になっていたり、中学校ごとで違うという話がありましたが。

○まめこま（吉村） 校則というのは生徒会だけで決めるのですか。

○COSMOS（田部谷） 先生が決めているところもあります。

○まめこま（吉村） ありがとうございます。

○司会（大場） 先生と生徒が決めるのではないのですかというような返しを期待したのですが、それで納得してくれてしまいました。

昔、生徒会では生徒総会みたいなものがあって、先生と生徒と一緒に校則を考えようということが僕が中学生のときにはあったのですが、今もそういうことはありますか。どなたでも良いので、生徒会の役員をやっている人がもしあれば、答えてもらえますか。

○COSMOS（伊藤） 生徒会総会はやっているのですが、校則を決めようということは議題に出ていないのでやっていないです。

○司会（大場） では、議題に出せば議論にはなりますか。



OCOSMOS（伊藤） なります。

○司会（大場） でも、出す人はいないですか。

OCOSMOS（伊藤） はい。

○司会（大場） それはなぜでしょうか。

OCOSMOS（伊藤） 一中はあまり校則が厳しくなくて、スカート丈が短い人も結構いて、注意はされますがそのうち段々また短くなっていったりします。

○司会（大場） なるほど。では、他の二中や四中はそういう機会がありますか。

OCOSMOS（田部谷） 生徒総会はありません。

○司会（大場） では、やはりそういうことを出せば、議論にはなるかもしれないでしょうか。

OCOSMOS（田部谷） はい。

○司会（大場） 二中はどうでしょうか。生徒総会がありますか。

OCOSMOS（斎藤） あります。

○ファシリテーター（大場） そういう話は出ますか。

OCOSMOS（斎藤） 出ません。

○司会（大場） 誰も出さないですか。

OCOSMOS（斎藤） はい。

○司会（大場） では、今日出たプレザーなどの話は、来年また生徒総会があると思うので、ぜひそういうところで議題になると良いですね。

なかなか良いお時間になってきましたので、COSMOSの発表も一旦こちらで切りたいと思います。僕の無理難題に耐えていただきありがとうございました。（拍手）

では、2グループ終わりましたので、少し早目ではありますが休憩をとりたいと思います。今、14時43分ですので、15時再開とさせていただきますので、それまでトイレ休憩などご自由におとりいただければと思います。

○司会（大場） 再開をさせていただきます。

次は、最後の3グループ目になりますが、まめこまから報告会の発表をしていただきたいと思います。まめこまの皆さん、よろしくお願いします。

○まめこま（井上） これからまめこまの発表をさせていただきます。まず、自己紹介から。私は粕江第三中学校2年生の井上桜です。よろしくお願いします。（拍手）

○まめこま（清水） 同じく第三中学校清水美里です。よろしくお願いします。（拍手）



○まめこま（吉村） 粕江第二中学校の吉村優斗です。よろしくお願いします。（拍手）

○サポーター（内海） 内海貴美です。よろしくお願いします。（拍手）

○サポーター（湯浅） サポーターの湯浅直紀です。よろしくお願いします。（拍手）

○サポーター（高田） サポーターの高田博法です。よろしくお願いします。（拍手）



○サポーター（湯浅） 中学生の発表の前にまめこまのグループ名の由来を説明させていただきます。中学生の2つのメッセージが込められています。1つ目は枝豆と粕江ということでまめこま、2つ目は小さな粕江という意味を込めまして、まめこまとさせていただきます。

○サポーター（高田） 中学生の話を長く聞きたいので、私たちは短くいきます。自分自身第1回目青少年会議に出席しているので、今中学生たちは相当緊張していると思います。最後の発表ですが、温かい目と雰囲気、優しく見守ってあげて聞いていただければ嬉しいです。よろしくお願いします。

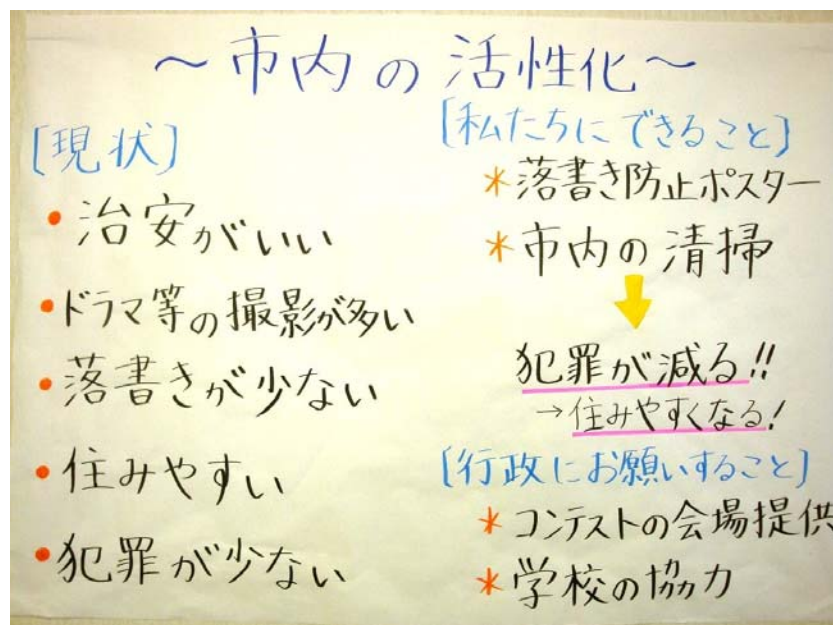
○サポーター（内海） 中学生の柔らかい頭で今中学生たちが考えた粕江の良さと、今ここを検討してほしいというところを自分たちの言葉で一生懸命発表しますので、よろしくお願いいたします。

○まめこま（井上） 私たちまめこまは粕江の良いところを伸ばし、悪いところを改善するために何ができるだろうということを考え、2つのテーマについてまとめましたので、発表させていただきます。



では、始めに市内の活性化についてです。市内の現状としまして、治安が良い、ドラマの撮影に使われることが多い、落書きが少ない、住みやすい、犯罪が少ないなどの意見がでました。これらは私たち粕江市民にとって、とても嬉しいことであり、また誇りでもあります。そこで、この現状を維持するために、また、さらに良くするためには何ができるだろうということを私たちは考えました。私たち中学生にできることは落書き防止のポスターをつくる、市内や多摩川をきれいにすることの2点を考えました。

1つ目にポスターについてです。各学校でポスターの募集を呼びかけ、美術部などにもお願いして作品を市内に掲示することを考えました。なぜポスターを考えたかと言いますと、落書きが減るということは犯罪が減ることにもなります。また、掃除をすることで市内がきれいになり、ますます犯罪が減るのではないかとことを考えました。



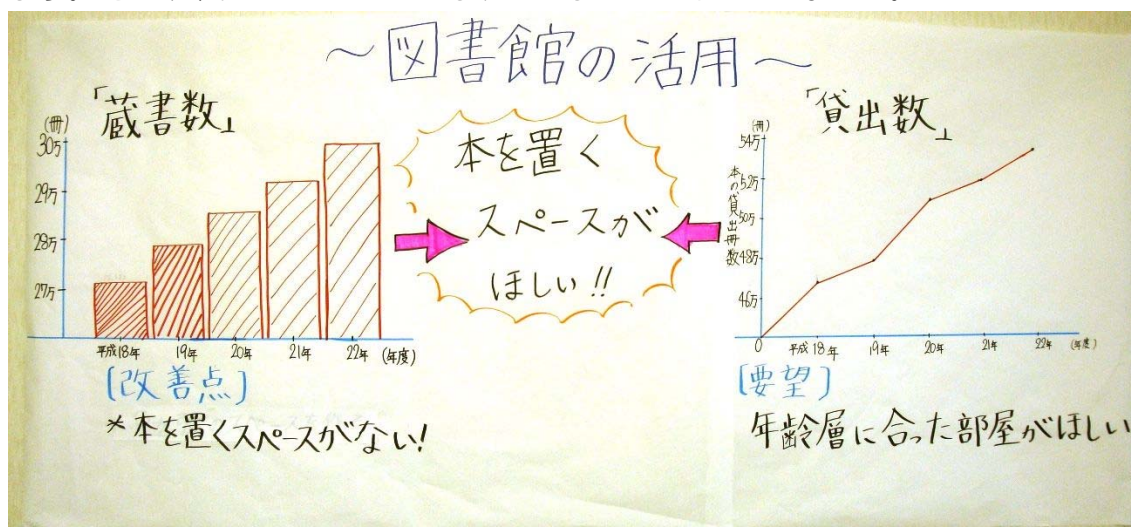
○まめこま（清水） 2つ目は、市内や多摩川をきれいにすることについてです。このことについては、学校単位で定期的に掃除をするということを考えました。例えば学区域の小・中学校で交流して掃除をする行事を設ける。春休み、夏休み、冬休みなどを利用して授業に支障のない時期を選ぶなど、学校側と相談します。小・中学校交流の例としまして、現在和泉小学校と第三中学校では安全マップを作成、学区で分けて掃除を行っています。これらの活動をすることで犯罪への抑止、環境面でも安全で住みやすい、治安が良い地域も仲良くなれると考えるため、和泉小と三中のみならず市内中学校と小学校が一斉に行いたいと考えます。また、市内の活性化へもつながり市内がきれいになることで、環境が良い市としてドラマの撮影にもさらに多く使われ、狛江の知名度も上がると考えます。

○まめこま（吉村） これら2点の提案は私たち中学生も活動できることですが、次に行政や学校にも協力をお願いさせていただきたいと思います。まずはポスターのコンテストの場を設けていただくことです。表彰などの評価をいただけることで、参加者の意識を高めることができますし、対内的のみならず対外的にも狛江市のイメージがさらに良いものになるのではないかと考えました。また、掃除をする行事として、市内小学校と中学校が合同でできる行事づくりを設けていただくをお願いしたいと思います。以上のことにより市内の活性化を図ることができると考えます。



○まめこま（井上） では、次に図書館の活用についてです。私たちは中央公民館の図書館について提案します。狛江市は平成23年度版の年報統計狛江より30万冊の蔵書があることがわかりました。かつ、都内の図書館蔵書数は377位中30位と高順位

につけています。また、蔵書数の増加に伴い貸し出し数も比例し、増加傾向にあります。とても良い状態だと思います。しかし、私たちは粕江市の本は少ないと感じています。そのギャップはどうして生まれてしまっているのでしょうか。



○まめこま（清水） 現在の図書館は、すべての本を書棚に置くことはできない状態にあります。私たちはこれまで、粕江市の図書館は本が少なく専門書も少ないと思っていました。しかし、実際は本はたくさんあるのです。中央図書館に行ってお話を聞いたところ、書棚に置けない本は旧第四小学校に置かれていることがわかりました。このような状態の中では、本を使いたいときにそばにない現状であると思います。すぐ本を手に入れることができることが大切だと思います。さらに粕江には図書館や各学校に司書の先生がいて、他の市や区もうらやむほどです。よって、粕江市の環境は良いものであることから、この環境をより生かすべく図書館の充実を希望します。また、中央公民館の図書室は勉強スペースが狭いので、もっと部屋の有効活用を希望します。



○まめこま（吉村） 部屋の有効活用として、例えば本を読むだけの人、幼児と一緒に勉強をする人、その他さまざまな方がいらっしゃいます。皆が同じ部屋だと気を使います。勉強にも集中できません。今ある公民館で貸している部屋を用途別にしてはどうでしょうか。私たち中学生は使用ルールを守り、また他の利用団体にも声をかけたりと有効に使えるように努力をします。利用が増える環境になれば市内図書館登録率の向上、使用率の向上にもつながり、ますます図書館の利用者は増えていくと考えています。

以上でまめこまの発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。（拍手）

○司会（大場） まめこまの皆さん、発表ありがとうございました。

では、先ほどと同じように中学生同士の議論に入っていきたいと思いますが、早速

質問がある人は手を挙げてください。

○くじおきハイスピードグリーン（佐野） 中学生自身が図書館をより良くするためには、どのようなことができるでしょうか。

○まめこま（吉村） 時間を守らせるなどの声かけを行っていきたいと考えています。

○くじおきハイスピードグリーン（佐野） ありがとうございます。

○司会（大場） 他には聞かなくて大丈夫ですか。では、他に質問がある中学生はいいますか。

○COSMOS（斎藤） 狛江が住みやすいとありますが、どんなところが住みやすいですか。

○まめこま（清水） 狛江市の中には坂が少なかったり、犯罪があまり起きていないなど、そういうところが住みやすいと思っています。

○COSMOS（斎藤） わかりました。ありがとうございます。

○司会（大場） なかなか良い質問だったと思いますが、他にありますか。

○COSMOS（伊藤） 犯罪が少ないと言っていたと思いますが、近所では空き巣が出るとか言われているのですが、犯罪は少ない方なのですか。

○まめこま（井上） 学校などでセーフティ教室や警察の方がよく授業などに来ることがあると思うのですが、そういうときに警察の方が狛江は犯罪が少ないと言っています。振り込め詐欺などが少しあると伺っていますが、全体的に比べて少ない方ではないかなと思っています。近所の空き巣などは、多分いろいろな季節的なこともあるのかなと思います。

○COSMOS（伊藤） ありがとうございます。

○司会（大場） ありがとうございます。あまり僕も詳しい数字は知らないのですが、感触としては犯罪率は低いのかなと感じています。

他に中学生、何かありますか。まめこまの発表は、市内の活性化と図書館の活用というところで大きく2つから構成されていると思います。少し聞いてみたいのですが、実際に借りたい本がなかったということはありましたか。

○まめこま（井上） そうですね、そういうことはなく、ある本がどれだけ借りられているかを表す図書館内の回転率というものがあるのですが、30万冊ある中でその本を借りたいと思う人は1人ぐらいなのです。ですので、そこまで貸し出しがないという状況には至っていないみたいです。それと、調布や武蔵野などいろいろなところと図書館間は連携をしていますので、もし狛江になくても困ることはないのではないかなと思います。

○司会（大場） なるほど。では、借りたい本がないというより、すぐ借りられないことの方が多いということですね。



○まめこま（井上） はい、記録などで見るとそうです。

○司会（大場） ですので、本を置くスペースをもっと広くしてほしいということですね。他にはどうでしょうか。

○くじおきスピードグリーン（伊藤） 落書き防止のポスターはどこに貼るのですか。

○まめこま（清水） ポスターのコンテストをやりたいので、コンテストの会場を提供してもらい、その後ポスターを貼る場所は市で話し合ってもらいたいと考えています。

○司会（大場） はい、わかりました。ちなみに、そのコンテストをやるとき、ポスターは中学生が全員書くのでしょうか。それとも書きたい人が書くのでしょうか。

○まめこま（井上） 美術部とか、いわゆる有志の書きたい方が書けるように考えているので、強制ではないです。

○司会（大場） では、美術の授業の中でやるとか、そういうことはグループとしては考えていないということですか。

○まめこま（井上） はい。

○司会（大場） なるほど、わかりました。ありがとうございます。他はどうですか。まだ質問していない人もいますが、もちろん2回目でも良いです。

では、僕からも何個か質問をさせてもらおうと思いますが、ドラマの撮影が多いという話はよく聞きますが、落書きポスターをつくったり市内の清掃をやったりすると、ドラマの撮影がより多くなるという話をさっきしていたと思いますが、それはなぜかなと少し考えていました。意地悪な質問ですが。

○まめこま（清水） やはりドラマの撮影は街がきれいだったり、環境が良い方が多くなると思うので、より市内をきれいにすることでドラマの撮影が多くなるのではないかと考えました。

○司会（大場） なるほど。要は、街がきれいになっていけばもっとドラマの撮影が増えて、狛江の知名度も上がるのではないかと

いうことですね。良いように解釈してしまいましたが。あとは図書館の活用について少し聞いてみたいのですが、仮の話で、本を置くスペースが1万冊分増えたとなったときに、どういう本を優先的に置くと皆さん来てくれるでしょうか。

○まめこま（井上） いろいろな人がいると思いますが、専門書などというのは専門の方が使うので、児童書などの絵本や小説、新刊の物など、そういうものを置いていければと思います。幅広い年代の方が使えるような本が一番置きやすいというか、置



く優先順位的には高いと思っています。

○司会（大場） 本が1万冊分増えた場合、中学生が欲しいものはどんな本ですか。

○まめこま（清水） 私は勉強系の本や小説が結構好きなので、そういう本が置いてあると勉強するときに便利なので、そういう本が良いと思います。

○司会（大場） あとの2人はどうですか。

○まめこま（井上） 小説とかも置いて欲しいですし、新しいいろいろな情報がある事典など、そういう情報が共有できるような本を置いて欲しいと思います。

○まめこま（吉村） 図書館を利用するときは調べものとかが多いと思うので、事典や図鑑など、そういうものが良いと思います。

○司会（大場） 結構事典とか図鑑というのが多いですね。では、今発表していない中学生はどうですか。

○くじおきハイスピードグリーン（藤原） 私は小説や、また将来の夢とか、いろんな職業についての本が読みたいと毎回思います。

○COSMOS（高野） 中学では朝読書の時間があるのですが、自分はなかなか本を買う機会がないので、図書館に小説などがあれば良いと思います。

○司会（大場） 皆さん、小説や事典が増えるといいなというところみたいですね。いろいろ話が出ましたが、そこからさらに、もう少し聞いてみたいという質問がある中学生はいますか。もう大体聞いてしまったでしょうか。

では、一応3グループ目の発表もここでおしまいにしたいと思います。まめこまの皆さんありがとうございました。（拍手）

○井上課長 中学生の皆さん、ありがとうございました。

それでは引き続きまして、狛江市青少年問題協議会副会長として日々ご尽力をいただいております長田輝男副会長にご講評をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○青少年問題協議会副会長（長田輝男） 長田輝男と申します。発表を聞いておまして、いろいろなことを感じておりますので、順番にお話したいと思います。

まず、大場さんにはもう何年にもなるわけですが、中心に中学生の話し合いを進めてきていただきましてありがとうございます。また、他のサポーターの皆さん、また中学生の皆さん、この会を積み上げてきたことでとても良い経験をしていることだろうと思います。大事なことは、皆さんが会議を重ねてきた中で培ってきた大人あるいは大学生、あるいは高校生、それから自分たち中学生、その交流から生まれたもの、友情とも違うだろうし、先輩後輩という関係とも違うだろうし、何か不思議な関係が私はでき上がっているのではないかと思います。それをこれからも大事に育ててほしい。この会議はまだまだ続きますから、次々に新たな中学生がそれに加わっていくということで、この輪が大きくなれば狛江のとても大きな力になるだろうと思います。どういう力かといえば、狛江の良いところはこういうところなんだ、ここを直せばもっと良くなるんだ、そのためにみんなで団結して力を合わせようではないか、

そういう大きな力が生まれてくるだろうと思いますので、今の皆さんの関係をぜひ大事にこれからも積み上げていてもらいたいと思います。

それでは、私の感じたことですが、1つは、自分たちが主張していく、その弱いところがみんな共通していたということです。これはどういうところかということ、自分たちはそれを実現したいと思っているけれど、自分たちがどのような行動を起こせばいいのか、どのような機関やあるいは学校のどういう先生に働きかければそれが実現していくのかということ、具体的に追求するところまでいかなかった、ここが少し残念でした。何となくこうしたい、ああしたいと、あるいは、これは役所をお願いしたいとか、そういう言葉はあったのですが、では役所の中のどこに行けばそれが実現するのかというところまで考えがいていなかったところ、そこが少し、私としては物足りないと感じております。しかし今回、今までにない新しいこともたくさん出ております。

まず、くじおきハイスピードグリーンของกลุ่มですが、四中戦、四つの中学校の交流を深める取り組みということで、これは毎回この中学生会議では出てきておりました。ですが、今回初めて踏み込んで文化面を取り上げた。そして、企画部を自分たちでつくって運営を図っていききたいと、そこまで言っていました。ですが、その企画部をどうやってつくるのか、四つの中学校のどこに働きかければそれができるのか。手っ取り早く言えば、生徒会役員同士が集まって、四つの中学校が集まって定期的に会議を開いて積み上げていく。だけど、これも時間が合わないなどで非常に難しい。今までもやったことはありますが、なかなか継続していかない。ですが、皆さんがそう感じるならば、それぞれの中学校の生徒会役員、生徒会の本部に働きかけて、ぜひそういうものが実現できるように先生にもお話をし、四つの中学校で同時に皆さんが動きをつくれば、これは何か大きな前進が出てくるだろうと思いますので、そんなことを少し考えてみてください。

それから、不法投棄の問題で雰囲気をつくり出していく、これはなかなか良かったです。狛江市の中に不法投棄できない雰囲気をつかっていくというところが、私は素晴らしいと思っています。そのためにポスターを貼るなどがあり、あるいは自分たちが実際に川で清掃活動をするということが出ておりましたが、ぜひこれもここで会が終わって終わりということではなくて、各中学校の生徒会に持ち帰ってこれが実現可能なのかということを生徒会の役員に話しかけてみてください。また、生徒総会がありますから、生徒総会のときにそういう問題を取り上げてもらうなど、何らかの働きかけが必要だろうと思います。

それから、COSMOSのグループですが、見返りというところがおもしろかった。



多摩川清掃をやります、その見返りとして運動面での施設を開放してもらいたい、これはなかなか良いですね。ですが、これもどうやって多摩川清掃を進めていくのか、どうやって人を集めるのか、あるいは市役所にどう働きかけるのか、学校にどう働きかけていくのか、そういったところの詰めが少し甘くてははっきりしない部分があった。ただ、やりっ放しではなく見返りとして施設を使わせてもらいたいという発想は、中学生らしくてよかったと思います。

次に、これは私は感心したのですが、四つの中学校で校則がばらばらだとありました。言われてみれば確かにそうです。同じ市内の四つしかない中学校なのに、学校の決まりがばらばらであると。授業中はブレザーを着ていなければいけない学校もあれば、脱いで良い学校もあればいろいろだということで、四つの中学校が、規則を、決まりを統一できないものだろうか。これは少し実現不可能だと思いますが、でも働きかけてみる、これがおもしろいと思う。もう決まっているのだからおしまいというふうに考えないで、自分たちだって学校の一員なのですから。そんなことを言ったら先生ににらまれるなんて、そんなけちな考えは捨てて、これも生徒会で話し合ってみたら良いと思う。やっぱり生徒会というのはそういう面では中心になるところですし、また、先生によって決まりが違って来るなんて、これは昔からそうですが、そういった面でみんなは迷惑しているわけですから、これは迷惑だなと思うことはやはり声に出して言っていった方が良いでしょう。そのために生徒総会があるわけです。ですが、大体どの学校でも決まりきったことをやって終わってしまう。そういう場を自分たちの考えを生かす場というふうに考えて、皆さんが働きかけていくということが大事だろうと思います。

それから部活動の見直し、これも必要ですね。もう昔からある部だから続いているというのではなくて、今こういう部が欲しいのだと。だから、これを解決するのもやはり生徒会あるいは生徒総会だろうと思う。みんなの声が学校の先生たちに届かなければ、先生は今の現状で良いというふうに考えていると思います。だけど生徒総会でみんながこうしたいということを強く叫べば、これは先生だって考えざるを得ないと思うのです。ダンス部が必要だ、ダンス部が欲しい、そういうのを訴えていく場として生徒総会をみんなが活用するということ、これが大事なことです。

環境問題にも触れていました。これは大体どのグループも触れていますが、これはぜひ大事なことで、日常の中でよく粕江の環境について考えていってください。

それから給食、確かに写真と違うとか、冷めていて美味しくないとかあるわけですが、これは現状ではどうにもなりません。今すぐ業者を変えるというわけにもいきませんし、これは契約しているわけですから。ならば、給食はやらないでやめて、自分でお弁当をつくると、そういうのはどうでしょう。全員が給食でなければいけないわけではなく、お弁当でも良いのでしょうか。だから自衛策として自分で、男の子も女の子も自分でお弁当をつくる。平成27年度までは、解決の道はこれしかないかもしれません。

それから、まめこまでです。名前の名づけ方が私は気に入りましたが、発表もなかなか良かった。狛江の良いところである住みやすさは、具体的には坂が少ないことというの、おもしろかったです。確かに坂はないですね。私は世田谷の岡本というところに住んでいますが、坂ばかりです。上ったら下りて、上ったら下りて、狛江は全然それがありません。でも、住みやすいのはそれだけではないですね。私は第二中学校に勤めていましたが、私が学校を終えて狛江の駅に向かって歩いていきますと、保護者の方、お父さんやお母さん、主にお母さんですが、私が帰るときに先生さようならって自転車から声をかけてくれる、そういう方が非常に多かった。先生さようならなんて、昔はよく言いましたけれど今はあまり言わないですが、ああ、これだなと思いました。要するに狛江には人情がある。これが大事なところだと思う。坂が少ないのも良いけれど、そういう人の良さも見つけた方が良い。

最後に図書館のこと。私は図書館協議会の委員長をやっていますが、よく皆さん調べましたね。蔵書が30万冊、これは都内でも多い方だが、場所がない。どうするか。公民館で貸し出している部屋を図書館が使えば良い。全くそのとおり。ただ、使っている人たちはいろいろな団体が使っているわけで、おいそれと手放すとは思えない。ただ、これは役所の問題ですから、皆さんが今日市長さんがいるところでお話なさったので、多分市長さんは心にとめていると思いますけれど、もうあの図書館のあの狭さではどうにもならない。それは皆がわかっているのですが、お金がなくてどうしようもないとか、私たち図書館協議会でもいろいろと考えてはいるのですが、なかなか良い方法が見つからないということです。その中で、年齢層に合った部屋を用意してほしい、これは良いですね。中学生に貸してもらいたい部屋が欲しいではなくて、各年齢層に合った部屋を用意してほしい。だから高齢者用の部屋、一般の大人、大学生、高校生、中学生、小学生、そういう部屋が欲しい。あの中央公民館を全部使えばそれはできるわけですが、現実としては半分以上、3分の2は公民館が団体に貸し出したりして使っているわけです。だから、そういった難しい問題を解決しないと、その実現はなかなか進まないということです。というわけで、この図書館については大変よく皆さん調べたと思います。

それからもう一つだけ。和泉小と三中で合同で清掃活動をしているということを聞いたのですが、これは素晴らしいことなのでぜひ各中学校でも、中学の学区にある小学校と手を取り合って清掃活動を進めてもらえたら、これはすごく大きな動きになるのではないのでしょうか。ぜひそのために皆さん一役買ってみてください。

では、私の講評をこれで終わります。（拍手）

○井上課長 どうも長田副会長ありがとうございました。

最後に大場さんの方から何かございますか。

○司会（大場） 皆さん、本日は天気が悪い中お越しいただきましてありがとうございました。最初の2グループのところは中学生も緊張してしまして、質問等も活発には出なかったのですが、最後の3グループ目のときは結構質問も出ていましたし、活

発な議論ができたのではないかなと感じております。

最後になってしまいましたが、本日お越しいただいた皆さん方から少し感想などをいただければと思っております。先ほど長田先生の方からもお話がありまして、内容に関しては少し具体性が欠けているところがあったというお話がありましたが、そういったところは少しご容赦いただいて、全体的なところで何か感想が一言二言ある方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いしたいのですが、どなたかいらっしゃいますでしょうか。ぜひお願いいたします。



○社会教育委員（飯田） 社会教育委員をやっております飯田と申します。

今回3回目ということで、初めて参加させていただきまして、中学生が本当に自分たちが住んでいる粕江のことをいろいろな角度から検討して、いろいろな考えの中で自分たちがどう粕江のまちづくりに関れるのかということを真剣に考えてくれていることを非常に頼もしく思いました。ただ、少し気になったことは、何となく今日の発表会が目的のようになっていた部分があるのではないかなと感じました。本来は、ここで発表して、その後どうやってそれを君たちの夢というか、理想というか、そういうものをどうやったら実現していくのか、そこを我々大人と皆さん方が一緒になって考えて、できるところから実行していくのが大切なのかなと思いました。そういう意味で、今日の発表は大変素晴らしかったのですが、この発表が皆さん方の目的ではなくて、発表したことをこれからどうやって粕江市の役所の人や私たち大人と一緒に何が実現できるのか、それを行動に移していくことが大事ではないかなと思いますので、今日の皆様方の発表の情熱をなくさないようにして、継続して一緒にまちづくりのために頑張れたら良いと思います。大変素晴らしい発表だったと思います。ありがとうございます。（拍手）

○司会（大場） ありがとうございます。もうお一方ぐらい感想をお願いしたいのですが。お願いいたします。

○青少年問題協議会小委員会（櫻井） 青少年問題協議会小委員会の櫻井と申します。

今日3回目だそうです。私も多分3回出ていたのではないかなと思います。年々いろいろと意見も出てまいりまして、実現性のあるようなものが出てきたのではないかと思いますけれど、一つ四中戦のことを少しお話したいと思います。あくまでもこれは参考にして聞いていただきたいと思います。

構想のスポーツの中に綱引き等というのがいろいろ出ていますけれど、綱引きは実際に粕江市でも開かれています。1月末の最終日曜日に綱引きのイベントがあったのですが、体育館において14年目を迎えています。これは、体育館にて年1回行われておりますが、本格的な綱引きを子供たちに向けて多少ルールを変更したものですし、

道具等もそろっております。皆さんのイメージしている綱引きというのは小学校でやるような大勢で引っ張るものだったのかなと思いますが、テレビなどで見たこともあろうかと思いますが、少人数で本当に自分たちの体を反り返らせてやる本格的なものです。最初のころは、ある学校からたくさんチームを出してもらって、中学生のチームも成立していました。ところが、だんだん中学生チームの参加が少なくなりました。1チームぐらい申し込まれても試合にならないので、こちらの方が悪いのだと思いますが、余り中学生を当てにしなくなってしまったということがあります。

これは文化系についても同じようなことで、青少年委員会で中高生フェスティバルというのをやっております。先ほどの綱引きは青少年委員会が14年前に立ち上げて今、社会教育課へ移っております。中高生フェスティバルは、年に1回ですが、平成24年度に開かれまして、エコルマホールで中学生と高校生も含めてバンドや、先ほど他のところでも出ていましたが、ポスターや絵画等の展示であるなど、いろいろな発表の場として設けております。自分たちで企画を立てて一からスタートするのも良いのですが、ぜひそういうところにも参加していただいて、まず第一歩としていかがかなという意見を持っております。皆さん独自でそういうものをつくり上げていこうと、それはそれで大変素晴らしいことだと思っております。



そして、せっかくこうやって学校を超えて皆さんいろいろな形で知り合ってしまったと思うので、これからもぜひ続けていただきたい。学校を卒業してしまうとばらばらになってしまう。それぞれ高校に入ったりすれば、それぞれの学校での生活が忙しくなって、狛江市になかなか皆さんと一緒にいる機会も少なくなるのではないかと思います。ぜひこの輪をつなげていってもらって、さらに広げてもらう。これからも皆さんたちに向けたイベント等が数多くあります。そういうところへぜひ参加をしていただいて、参加するだけでなく関わっていただきたいと思っております。

参考意見までに述べさせていただきました。ありがとうございました。（拍手）  
○司会（大場） ありがとうございました。

では、お時間でございますので、こちらで切らせていただきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。（拍手）

○井上課長 長時間にわたりましたが、皆様お忙しい中をお越しいただきまして、ありがとうございました。中学生の主張に対しいろいろとございますが、今後とも地域の方々のお力添えを得ながら青少年を見守り、そして応援していただきたいと思います。

それでは青少年会議報告会、閉会の挨拶を児童青少年部長よりお願いいたします。  
○児童青少年部長（松坂） 児童青少年部長の松坂です。

本日は中学生の皆さん大変ご苦労さまでした。リハーサルでは随分意見が出ていたということだったのですが、本番では余り意見が出ていなかったようですね、リハーサルで力を使ってしまったみたいですが。

本日のこういう会議をきっかけにして今後、二十歳になると成人式の実行委員会というのもありますので、そちらの方も参加していただいて、委員になっていただきたい。そして、その後は大場君みたいに青少年会議のファシリテーターになっていただいて、市にずっと関わっていただけると大変助かります。

本日は10月からずっと休みの中会議に参加をしていただいて、最後に今日発表ということで、大変お疲れさまでした。ありがとうございます。

これで閉会といたします。出席の皆さん、どうもありがとうございました。（拍手）

○井上課長 これで青少年会議を終了いたします。皆様お疲れさまでした。



青少年会議に参加してのアンケート

○得たこと、感じたこと

【中学生編】

- 今まで狛江市の事について深く考える機会とかなかったので良い経験となりました。工夫した方が良い点では、中学生が自分達なりに考えた事なので、発表の時に否定しすぎるのはどうかと思います。それと、中間テストなど、学校行事の予定がでているので、そういう時はある程度ずらしてほしいと思いました。
- 自分の意見や感想を言う事があまり得意じゃなかったけど、今回の会議を通して、自分の意見を紙に書いて発表する事が出来るようになって、とてもうれしく感じました！反省は、もっとせっせよく的に意見をいえばよかったかな？という事です。
- 色々な事が勉強になりました。私は、学校で部活に入っていないため、他校の生徒とはほとんど関わりのなかった私でしたが、この青少年会議で友達になれた人もいます。そういう面でも、とても楽しかったし、アシスタントの湯浅さんは三中卒業生なので、私にとっては三中ってこういう学校だったんだと新たな発見にもなりました。そして、私達のグループは中学生が2～3人と一番少なかったのですが、アシスタントの通称ウッチーさん（内海さん）らが色々な事を調べてきてくれたりと、私達中学生の意見を素直に一生懸命きいてくれている事に私は感動しました。本当に楽しかったです。また、このメンバーと一緒に何かしたい。（強く希望）
- 会議を通じて他の中学の人とも友達になれてうれしかったです。男子が少なく感じたので、男女共にバランス良く参加するようにしてほしいです。途中から参加しない人がいたので、責任をもってできる人に参加してもらいたいです。
- 他の学校の同級生たちと話し合う機会はあまりないので、新鮮で良かったです。テスト期間中の会議に参加するのは少し大変でしたが、毎回楽しい会議でした。日曜日は部活が多くて会議にあまり参加できなくてすみませんでした。

【リーダー・サポーター編】

- 中学生を集めるのは難しい。また、会議を全て出席することは厳しいですが、なんとか理解をしてもらい参加してほしいです。
- 今回は私自身 3 回目の活動となりましたが、自分の勉強にもなりました。中

学生も大人が思っている以上に狛江の事、自分たちの住んでいる街を考えていることにびっくりです。

- 工夫は、毎回参加する子どもたちの性格もあるので、意見の引き出し方をどうするかはその時でも対応できると思う。
- 今回で2回目となった青少年会議は前回よりも要領良く進めることが出来た。前回とは自分が学生から社会人になり、市政の在り方について考えさせられた。市は市民から徴収した税金を、公共サービスとしてどの様に還元させるべきなのか。民間との差異は何なのか。簡単に答えの出せるような疑問ではないが、考える良いきっかけとなった。
- 会議の反省としては中学生の欠席が目立ち、進めづらいことが多々あった。部活や勉強と比べるとどうしてもプライオリティが下がるのは已む無しだが、中学生の考えが全ての会議を通じて一貫性を持たせられないのは残念だった。次回会議は更に学校の協力を得るなど、ぜひ改善して頂きたい。
- 最終目標の明確化。自分のなかで、この会議のゴールが不明瞭な部分がまだ多少なりにあるのが反省点である。会議のメンバーが最終目標を当初から共有し、会議に参加すれば、より有意義なものになると考える。それは市長の前で報告をするという体裁ではなく、なぜ自分達が集められ、最終成果物として何をつくりあげるのかを具体化し、提示することで改善できるのでは。

## ○次回の青少年会議に参加する中学生へ一言！！

### 【中学生編】

- 最初はとてもめんどくさいと思うんですけど、グループどうしの話し合いとか、けっこう楽しいから積極的にがんばって下さい。
- 自分からせっせよく的に意見をいったり出来る、とてもいい環境です。とても楽しく、やりやすい会議です！
- はじめは、とても緊張するかもしれませんが、けれど、アシスタントの方がとても優しく丁寧に教えてくれます。それが何より安心する一つです。そして、私達がすることはただひとつ！柔軟な頭をはたらかせればいいのです。そうすれば、みんなが助けてくれます。もちろん助けてあげてください。毎月毎月とても楽しい会議になります。一生懸命行って下さい。（発表の時は、校長もくるので自分をアピールするといいかも！？）この経験は、すぐに役立ちます。学校でも、家でも！この会に参加した事は、大きなプラスですよ！楽しみにしてます。
- 青少年会議は学校の代表として参加するので、責任感をもって、できるだけ出席してください。人前で話したり、時分の考えを伝えたりすることに不安

を抱くこともあると思いますが、自分の自信につながります。頑張ってください！

- 市内の他の中学生と話すのはとても貴重な経験です。いろんな情報も伝え合えるので楽しいです。積極的に話し合いに参加すると思います。

【リーダー・サポーター編】

- 異年齢の人と関わり、又、他学校の生徒とのふれあいがあり、とてもいい経験となるので楽しんでほしい。
- 悩まず率先して自分の意見を言って下さい。
- 初めて会う人達の前で、自分の意見を述べることは難しく、恥ずかしいことかもしれませんが、真剣に向き合えば、真剣に返してくれるメンバーばかりです。貴重な経験となると思いますので、前向きに取り組んでください。

## 青少年会議開催日及び主な内容

| 日 時                                                            | 場 所                               | 主 な 議 題                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt;第1回&gt;</p> <p>平成24年10月21日(日)</p> <p>午前10時～午後0時10分</p>  | <p>市 役 所</p> <p>特 別 会 議 室</p>     | <p>○青少年会議の概要説明</p> <p>○アイスブレイク～バースデイライン～</p> <p>○チーム作り</p> <p>○キャンプネーム決定、自己紹介</p> <p>○グループ名決定</p> <p>○ワークショップ『動物園にいる動物』『狛江ってこんなところ』『狛江の良いところ、悪いところ』</p> <p>ブレインストーミングとKJ法</p> |
| <p>&lt;第2回&gt;</p> <p>平成24年11月18日(日)</p> <p>午後2時～4時10分</p>     | <p>市 役 所</p> <p>特 別 会 議 室</p>     | <p>○初めての参加者のキャンプネーム決定、自己紹介</p> <p>○アイスブレイク～あと出しじゃんけん～</p> <p>○ワークショップ『狛江ってこんなところ』『狛江の良いところ、悪いところ』『狛江を改善するために自分たちにできること、大人等にお願いすること』</p> <p>ブレインストーミングとKJ法</p>                 |
| <p>&lt;第3回&gt;</p> <p>平成24年12月16日(日)</p> <p>午前10時～午後0時10分</p>  | <p>市 役 所</p> <p>502・503 会議室</p>   | <p>○アイスブレイク～+2～</p> <p>○ワークショップ『狛江の良さを伸ばすための方策』『狛江の悪いところを改善するための方策』</p> <p>ブレインストーミングとKJ法</p>                                                                                 |
| <p>&lt;第4回&gt;</p> <p>平成25年1月19日(土)</p> <p>午前10時～午後0時20分</p>   | <p>市 役 所</p> <p>特 別 会 議 室</p>     | <p>○アイスブレイク～部屋の四隅～</p> <p>○ワークショップ『狛江の良さを伸ばすための方策』『狛江の悪いところを改善するための方策』</p> <p>ブレインストーミングとKJ法</p> <p>○グループごとに発表、他グループから質問</p> <p>○発表形式等について説明</p>                              |
| <p>&lt;第5回&gt;</p> <p>平成25年2月16日(土)</p> <p>午前10時～午後3時</p>      | <p>市 役 所</p> <p>特 別 会 議 室</p>     | <p>○アイスブレイク～部屋の四隅～</p> <p>○内容の再検討</p> <p>○報告会用の資料作成(模造紙と発表原稿)</p> <p>○想定質問の検討</p>                                                                                             |
| <p>&lt;リハーサル&gt;</p> <p>平成25年3月10日(日)</p> <p>午前10時～午後1時30分</p> | <p>狛江市民ホール</p> <p>展 示 多 目 的 室</p> | <p>○グループ発表練習</p> <p>○報告会の最終説明</p>                                                                                                                                             |
| <p>&lt;報告会&gt;</p> <p>平成25年3月10日(日)</p> <p>午後2時～4時</p>         | <p>狛江市民ホール</p> <p>展 示 多 目 的 室</p> | <p>○青少年会議の概要説明</p> <p>○グループ発表『狛江のために、私たちができること』、他グループから質問</p> <p>○講評</p>                                                                                                      |

青少年会議参加中学生一覧

| 中学 / 学年 | 氏 名    | グループ           |
|---------|--------|----------------|
| 一中 1年   | 高野 翔太  | COSMOS         |
| 一中 2年   | 伊藤 遥奈  | くじおきハイスピードグリーン |
| 一中 2年   | 伊藤 礼紗  | COSMOS         |
| 二中 2年   | 吉村 優斗  | まめこま           |
| 二中 2年   | 斎藤 みなも | COSMOS         |
| 二中 2年   | 佐野 潤平  | くじおきハイスピードグリーン |
| 二中 2年   | 藤原 優紀  | くじおきハイスピードグリーン |
| 三中 1年   | 清水 美里  | まめこま           |
| 三中 2年   | 井上 桜   | まめこま           |
| 三中 2年   | 木野 一毅  | COSMOS         |
| 四中 2年   | 今田 理子  | まめこま           |
| 四中 2年   | 小川 侑美  | まめこま           |
| 四中 2年   | 金野 未来  | くじおきハイスピードグリーン |
| 四中 2年   | 田部谷 凜  | COSMOS         |

青少年会議協力者一覧

| 役 割 等    | 氏 名    | グループ           |
|----------|--------|----------------|
| ファシリテーター | 大場 悠   |                |
| サポーター    | 小林 はるみ | くじおきハイスピードグリーン |
| サポーター    | 佐々木 駿  | くじおきハイスピードグリーン |
| サポーター    | 藤田 尚子  | くじおきハイスピードグリーン |
| サポーター    | 高田 礼子  | COSMOS         |
| サポーター    | 根本 龍彦  | COSMOS         |
| サポーター    | 杉本 綾亨  | COSMOS         |
| サポーター    | 内海 貴美  | まめこま           |
| サポーター    | 湯浅 直紀  | まめこま           |
| サポーター    | 高田 博法  | まめこま           |

## 報告会アンケート集計結果（アンケート回収18件）

### 1. 本日の会議を何で知りましたか。（重複回答あり）

HP（0）      チラシ・ポスター（1）      友人・知人（3）  
その他（12）（青少年問題協議会からの通知、委員会、案内状）  
無記入（2）

### 2. 本日の内容はいかがでしたでしょうか。（重複回答あり）

非常に良かった（7）      良かった（8）      ふつう（1）  
あまり良くなかった（0）      良くなかった（0）  
その他（0）      無記入（2）

### 3. 本日の会議の感想をお願いします。

- こんなにきちんと具体化された提案がでていたとは思いませんでした。毎回協議を重ねた中学生サポーターをはじめ御関係者の方々のご苦勞に頭が下がります。
- 中学生の討論、調査、発表は成長の上でとてもいいことだと思います。
- 狛江市の自然・環境を守るために自主的に「清掃など行う」という自主性、犯罪をなくしたいという提案などすごいと思いました。4つの中学校戦も第一回から出されていたのでぜひ実現させたいですね。図書館問題ではしっかりデータを調べ、自身の感じ方と比較し、さらに提案していることに感心しました。
- 特に給食問題について、要望を実行できればと思います。
- 中学生らしい意見でよかったと思うが、それを実現するためにはどうしたらよいか考えて欲しい。
- 中学生の思いを聞かせて頂きとても参考になりました。グループが学校の垣根を越えて構成されているので、他中学の交流が図れると思います。
- 1年だけでなく中学3年間を通して関わる体制があってもよいと思う。もっと中学生の人数を増やした方が活発な意見交換ができると思う。
- 質問にもしっかりと受け答え出来ている姿に感心しました。
- 中学生から多くの提案及び問題提起があった。特に中学校給食、校則、校庭開放など重く受け止めて具体的に対応すべきである。また、提案を具体化するための継続協議の場を設けることが中学生に応える市や大人の責任である。
- 中学生が色々なことを様々な視点で考えていることがわかってよかったです。またよく調べて発表していると感心しました。
- 中学生の生の声を聞けて良かったです。質問する中学生から「管理はどうするの？」など質問があり、びっくりしました。実際問題で出てくることは、

大人たちの出番なので、そこから先は一緒に考えて実現できたら良いのではと思いました。

- 中学生の居場所→学校の開放→指導者の不足の改善、スポーツクラブのインストラクターの活用などを考えたい。
- 中学生の皆さんもっと積極的であるべき。チャレンジが苦手ですね。
- 中学生が感じている課題解決に出来るだけ協力すべきだと思う。
- 2011年に引き続き拝見しましたが、今回の方がまとまっていたように感じます。お疲れ様でした。大場君のリードが良かったです！
- 各グループの発表された事が実現できるよう行政・諸団体の協力を求め、実現して頂きたいと思います。
- サポーターはどのようにサポートしたか紹介してもらいたかった。
- 青少年会議メンバーが各々のテーマに一生懸命に取り組んだことが良くわかった。
- 市内各中学校の情報交換的役割もあったと思う。
- 子供たちの要望を（良い件）関係するところにつなげて進めて欲しい。例…（自然を生かす。）苗を植える。音楽の街粕江→合唱コンクールは出来ると思う。

#### 4. 工夫した方が良いと思う点等がありましたらお願いします。

- せっかくこんなに素晴らしい内容なのにとっても内々で（発表も含め）もったいないので、学校からも手紙でお知らせいただきたいです。保護者、学校関係者にも聞いて欲しいです。
- 校則をよくしていくことも、ぜひ生徒たちの発表で行ってほしいと思いました。
- 参加者同じ中学生が来てくれるといいなと思いました。保護者の方も。エコルマじゃなく中学でやってみると生徒も参加しやすいかもしれませんね。もっとPTAの方などにもアピールした方がいのではないのでしょうか。
- 参加者が少ない。一般の中学生、先生の参加をもう少し促した方が良いと思います。
- もっとテーマを絞って話し合ったほうが具体的になってよいのでは。例えば、「多摩川をもっと有効に活用するにはどうしたらよいか」
- グループ名の説明など、中学生が出来ることは極力中学生に機会を与えてあげたほうが良いと感じました。
- 発表は生徒に任せるべきでサポーターはマイクを持つべきではないと思う。中学生の自主的な説明や進行に期待したい。（グループ名なども中学生に任せる方が良い。）
- 中学生間でのQ & Aの他、会場の一般参加者とも意見交換をすべきではないだろうか。
- 中学生間のQ & Aがもっと活発になるような発問や事前指導が必要である。
- 部活動の見直しは各校単独で考えるのではなく、生徒数減少に伴う学級数の減少及び教師数の減少は、市内全域での活動の場を考えることが重要である。

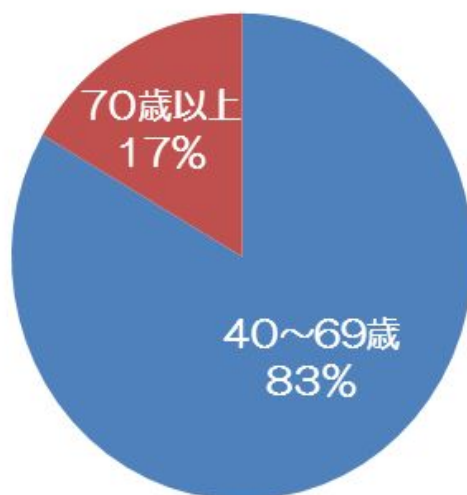
- 発表方法ですが、中学生ならばパワーポイント等を使ってのプレゼンテーションくらいは教えれば十分だと思います。（すでに使い方を知っている生徒もいます。）次回は是非やってみてください。中学生の自信につながります。
- ファシリテーターの方が質問されていましたが、各チームが議論している段階でそのような投げかけがあれば、もっと中味が深まったのではとも思います。中学生から質問だけでなく共感する点など意見も聞きたかったです。参加していた中学生の参加動機や参加しての感想も聞きたかったです。
- もっと意見交換出来るよう生徒、先生、父兄の場にしてはどうでしょうか。
- 冊子（プログラム）グループごとに左右のページで見れると見やすいと思います。P3、P4が違うグループで、その後のページが表裏になっているのを表裏でない方が。
- 今回のテーマがどこかに書いてあると見やすいと思います。
- 中学生同士の質疑応答はもっと活発にするためリハーサルが必要だと思います。

## 5. その他ご意見・ご要望などがありましたらお願いします。

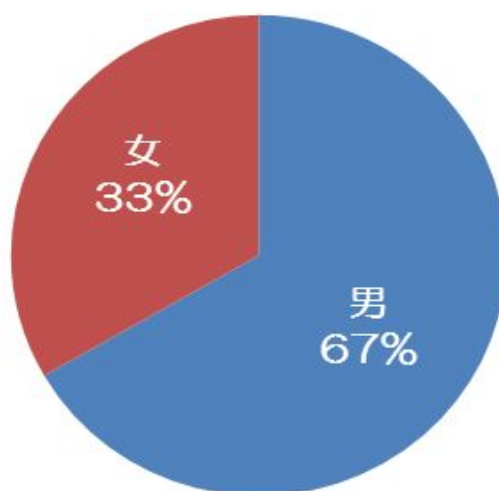
- 提案→継続→解決となると良いですね。参加した子供自身がそれぞれの場で発信源となりますよう、お疲れ様でした。
- 中学生の貴重な提案どれも良かったですよ。今度は本当に実現できるようにその仕組みを作っていくことが必要だと思います。参加している生徒は1年間で終了するので、これらの事を引き継いで実行するまでの提案者がいなくなってしまうと思います。私たちとしてはこの提案を受け、できる限り実現できるよう力を尽くしていきたいと思います。
- 継続しますように！
- 既存のイベント（綱引き、中高生フェスティバル等）への参加を考えてはどうか。中学生の参加が少ない（無い）。会議に参加した中学生は今後もいろいろな所で市等のイベント等にかかわってほしいと思う。
- せっかくの中学生の思いを具体化できる体制を作る必要があると思います。ただの会議で終わっている傾向にある。
- 子どもの「遊び場の確保のために何ができるか」「部活動をもっと充実させるためにはどうしたらよいか」など。
- 狛江市は青少年会議の他、子供環境サミットや子供議会等児童及び青少年の活動が活発に展開されている。しかし多くの市民は、その活動自体を知らずにいる。より多くの一般市民がこのような児童生徒の学校外での活動を知るよう広報、情報、発信に努めて頂きたい。
- 具体的に出された提案、中学生の率直な要望なので実現に向けて動いていければと思います。大人としても協力出来ればと思います。
- まめこまグループが全体的によかったです。
- 青少年会議で発表された意見で、実現できるものがあれば実現させてあげたい。

## 6. 回答していただいた方の性別・年齢

### 年 齢



### 性 別



登録番号（刊行物番号）

H25－15

平成 24 年度青少年会議報告書

平成 25 年 9 月発行

発 行 狛江市

編 集 狛江市児童青少年部児童青少年課

住 所 狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号

電 話 03（3430）1111

頒布価格 8 0 円

印 刷 庁内印刷